

# 月刊 Gs グラフィックサービス

No.840  
2021  
11

## ■ 巻頭言

「青銀共創」の実現でジャグラの絆をカタチに  
——ジャグラ理事 田中良平

## ■ 巻頭企画

日本自費出版文化賞受賞作決まる

## ■ 特別企画

ジャグラ作品展大臣賞受賞社に聞く①  
印刷産業の SDGs

—— 2030 年の印刷産業到達目標は 2010 年比 31.2%減

## ■ 連載・シリーズ

ジャグラ DX 始動！⑤

中小印刷業の働き方改革を考える③

我が社の自費出版事情⑪

## ■ NEWSとお知らせ

SPACE-21全国協議会・鹿児島大会を開催  
東グラ秋祭りを開催





# GS

No.840  
2021  
11

CONTENTS

## ■ 巻頭言

- 1 「青銀共創」の実現でジャグラの絆をカタチに  
ジャグラ理事(新任) 田中良平

## ■ 巻頭企画

- 2 日本自費出版文化賞受賞作決まる

## ■ 特別企画

- 4 ジャグラ作品展大臣賞受賞社に聞く①  
(株)リーブル(高知)／望月印刷(株)(東京・城東)
- 18 印刷産業のSDGs  
2030年の印刷産業到達目標は2010年比31.2%減

## ■ 連載・シリーズ

- 10 ジャグラDX始動!⑤  
地域活性化とDXの融合(後編)  
ジャグラDXWG委員／(株)ニシキプリント 宮崎 真
- 22 中小印刷業の働き方改革を考える③  
広島・(株)広瀬印刷さんの事例
- 30 我が社の自費出版事情⑪  
和歌山・(株)ウイングさんの事例

## なかむら通信

会員の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。

会長の中村耀です。

9月30日、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として発出されていた緊急事態宣言が解除され、加えて10月25日には東京・大阪など5都府県で続いていた飲食店への営業時間の短縮・酒類提供制限要請も解除され、やっとニューノーマル・ウィズコロナ時代の兆しが見えてきました。しかしこの間、依然として商売の方は芳しくなく、我が社も昨年に比べ売り上げが減少して、本当に活気がありません。

## 月刊

# グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

## 電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます  
公式HPで本誌PDF版を公開中!  
毎月中旬、紙媒体より早くご覧いただけます  
バックナンバー閲覧もここから



<https://www.jagra.or.jp/>

## ■ NEWSとお知らせ

- 16 「事業再構築補助金」のご案内
- 19 日印産連 GP マーク普及準大賞  
(株)文伸さんが5年連続受賞
- 21 ジャグラBB HOTNEWS
- 27 「印刷物ご発注に関するお願い」文書を作成  
ジャグラHPよりダウンロードできます
- 28 業界の動き  
SPACE-21全国協議会を開催  
鹿児島大会～さつまから日の本へ～  
「東グラ秋祭り」を開催  
オンラインで60名余が交流
- 32 JFPI REPORT ダイジェスト
- 15 法親会のご案内
- 20 コラム
- 29 会員の異動 / 新入会
- 33 事務局日誌と今後の予定 / 事務局便り

本誌へのご意見・記事提供は下記まで  
[edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp)

「ジャグラBB」もご覧ください  
経営・教育番組を多数配信!  
[jagrab.net](http://jagrab.net)

# 「青銀共創」の実現で ジャグラの絆をカタチに

ジャグラ理事(新任) 田中良平



6月の総会で理事を拝命し、10月1日付で事務局常勤として、愛知の会員企業クイックスより出向してまいりました。改めましてこれからどうぞよろしくお願いいたします。

「田中って誰だ?」と皆さん疑問を持たれているかと思いますが、本日は貴重な誌面を頂戴しまして自己紹介をさせていただきます。

東京生まれ、東京育ちでももとは印刷業界誌の記者として約十年近く勤めていました。その後、縁あってクイックスに入社し、東京事業所の営業として9月末まで勤務していました。

記者、印刷会社の営業という経歴から印刷業界について何も知らないということはありませんが、団体役員という役割については門外漢です。沖専務理事、並木事務局長をはじめ事務局の皆さんにご指導いただきながら、少しずつ会員の皆様のお役に立てる存在になればと思っております。まずは温かい目で見守っていただき、ご指導ご鞭撻いただければ幸いです。

年齢は今年で42歳になります。この年齢はご年配の高齢者層と若者の若年層の間だと認識していますが、非常に諸先輩と若者の両方から色々なことを学べるポジションだと思います。新型コロナウイルス感染症の初動の抑え込みで世界中から注目された台湾では今、「青銀共創」という試みが盛んに行われているそうです(オードリー・タン『デジタルとAIの未来を語る』より)。「青銀共創」とは、「青(若者)」「銀(高齢者)」が互いに学び

あい、共同でイノベーションを起こそうという考え方で。デジタル社会の到来は技術的についていけない、特に高齢者等を取りこぼしていくのではと危惧されていますが、「青銀共創」はそれを否定しています。

ジャグラでは記者時代の経験から青年組織のSPACE-21のチャレンジ精神、諸先輩方の知恵や視野が非常に勉強になりました。もちろん、クイックス社内においても同様で、先輩方の長年の経験、若手社員(といっても社歴的に皆先輩ですが)の順応性や考え方は良い刺激となり、いつも新たな発想や可能性を感じさせてくれます。

私に何か役割があるとすれば、こうした青銀共創を実現するための環境整備、パイプづくりだと考えています。5月から末席に加えていただいているジャグラDXWGは、ジャグラの青銀共創の場作りになるのではと勝手ながら期待しています。世代関係なくジャグラ会員が築き上げてこられた「価値」にイノベーションを起こし、「新たな価値」創出の原動力を生み出すべく、毎月議論が交わされています。会員各社の持続的発展やグラフィックサービス業界の将来展望が描けるものにするため、ご期待以上に会員の皆様のご理解、ご協力を頂戴できればと改めてお願い申し上げます。

長年諸先輩方が積み重ねてこられたジャグラの絆を具体的なカタチにできるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

ジャグラの新章は  
ここから始まる!

行こまいっ  
愛知

第57回 定時総会 第64回 ジャグラ文化典

# 愛知大会 2022

3年ぶりの開催へ!!

6/3 記念ゴルフ・ウエルカムパーティ  
6/4 定時総会・文化典・懇親会  
会場:名古屋観光ホテル  
6/5・6 オプションツアー  
郷土武将ゆかりの地などをめぐるコースをご用意

運営委員長 神山 明彦  
実行委員長 岡本 泰

<https://www.ikomai.pw>

巻頭言



# 日本自費出版文化賞 受賞作決まる

大賞は埼玉県川越市・藤沼敏子さんの  
『あの戦争さえなかったら 62人の中国残留孤児たち(上)(下)』

第24回日本自費出版文化賞(ジャグラー主催、NPO法人日本自費出版ネットワーク主管)の最終選考会が開催され、大賞に埼玉県川越市・藤沼敏子さんの『あの戦争さえなかったら 62人の中国残留孤児たち(上)(下)』を選出、併せて部門賞7点、特別賞7点、入選57点も決定しました。

×

**全国より 812 点が応募 / 色川氏に特別功労賞**

同文化賞は日本自費出版ネットワーク（中山千夏＆川井信良代表理事）が運営するＨＰによる自費出版データの蓄積・公開活動と連動しながら、自費出版に光を当て、著者の功績を讃え、かつ自費出版の再評価、活性化を促進しようとするものです。今回は 812 点の応募作品について厳正なる審査が行われ、入賞作品を決定しました。

表彰式はコロナ禍の影響で中止となりましたが、代わり  
に冊子「第24回日本自費出版文化賞誌上表彰式」を作成し、  
受賞者の栄を讃えるとのことです。



故・色川大吉氏

なお、同賞創設から 20 年間、選考委員長を務められ、9 月 7 日に亡くなられた歴史家の色川大吉氏に「特別功労賞」が贈られました。ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

## 審查經過

|      |                        |
|------|------------------------|
| 募 集  | 2020 年 11 月～2021 年 4 月 |
| 一次選考 | 2021 年 4 月～6 月         |

|      |                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------|
|      | 専門委員により 363 点を選出                                          |
| 二次選考 | 2021 年 7 月 17 日                                           |
|      | 73 点の入選候補作品を決定                                            |
| 最終選考 | 2021 年 9 月 8 日                                            |
|      | 最終選考委員（鎌田慧、中山千夏、成田<br>龍一、小池一子、佐藤和夫、藤野健一、<br>秋林哲也）により各賞を決定 |

## 応募状況

|          |     |         |     |
|----------|-----|---------|-----|
| 地域文化部門   | 131 | 個人誌部門   | 112 |
| 小説部門     | 151 | エッセー部門  | 146 |
| 詩歌部門     | 105 | 研究・評論部門 | 112 |
| グラフィック部門 | 55  | 合 計     | 812 |

## 受賞作品

大賞・部門賞・特別賞は次ページの  
とおりです。詳細および入選 57 点に  
ついては日本自費出版ネットワークの  
HP をご参照ください。  
(<https://www.jsjapan.net/>)



発表会にて 左より、中村会長、川井代表※、岩根副代表※、山崎事務局長※

**大賞×1点**

●地域文化    あのを戦争さえなかったら 62人の中国残留孤児たち(上)(下)  
藤沼敏子/埼玉県川越市/津成書院・中央精版印刷(株)



**部門賞×7点**

- 地域文化 桑国島の祭祀—ヤガン折目を中心に—  
安里盛昭／沖縄県中頭郡中城村／総合企画アンリ・(株)平山印刷
- 個人誌 鉄の戦士 父・前田定の闘い—満蒙開拓青少年義勇軍に消えた青春—  
前田千代子／高知県安芸市／前田千代子・高知新聞総合印刷
- 小説 ペリーの祟  
あいちあきら／埼玉県日高市／編集工房ノア・亜細亜印刷(株)
- エッセー 味覚喪失～人は脳で食べている～  
元木伸一／静岡県伊東市／風詠社・シナノ印刷
- 詩歌 イーハトープの数式  
大西久美子／神奈川県鎌倉市／書肆侃侃房・瞬報社写真印刷(株)
- 研究・評論 御冠船料理の探求 文献資料と再現作業  
鄺揚華／沖縄県那覇市／出版舎 Mugen・(有)サン印刷
- グラフィック 土と緑と人間と—西阿波・祖谷 傾斜地に暮らす—  
日浦嘉孝／香川県丸亀市／(株)日本写真企画・(株)東京印書館

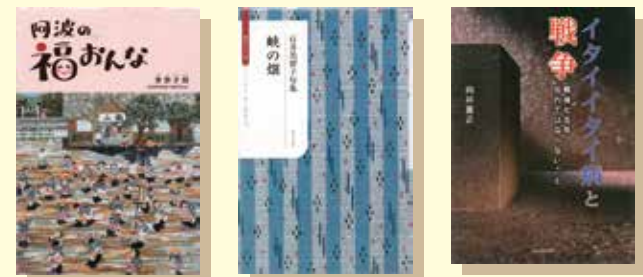
**特別賞（協賛各社賞） × 7 点**

- 地域文化（ニコミナルタジャパン(株)賞）  
四國秘境物語  
安森滋／愛媛県西条市／安森 滋・広文社印刷(株)
- 個人誌（リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)賞）  
お前の親になった一被害者と加害者のドキュメントー  
草刈健太郎／大阪府大阪市  
／小学館集英社プロダクション・大日本印刷(株)
- 小説（(株)モリサワ賞）  
墓仕舞い  
荒川玲子／千葉県市川市／本の泉社・亜細亜印刷(株)
- エッセー（(株)大塚商会賞）  
阿波の福おんな  
安部才朗／島根県隠岐郡隠岐の島町／今井出版・今井印刷(株)
- 詩歌（(株)ショーワ賞）  
峡の畑―石井美智子句集―  
石井美智子／秋田県南秋田郡五城目町／ふらんす堂(株)・トーヨー社
- 研究・評論（ホリゾン・ジャパン(株)賞）  
イタイイタイ病と戦争―戦後七五年忘れてはならないこと―  
向井嘉之／富山県富山市／能登印刷(株)出版部・能登印刷(株)
- グラフィック（富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)賞）  
モリノコ  
黒瀬麻美／愛媛県松山市／ブックウェイ・小野高速印刷(株)

**特別功労賞×1点**

●地域文化 不知火海民衆史 (上)(下)  
色川大吉／山梨県北杜市／揺籃社・(株)清水工房

凡例 ●部門 受賞作品名  
著者／著者居住地／発行者・印刷所





# ジャグラ作品展 大臣賞受賞社に聞く①

出版印刷物部門 経済産業大臣賞 『仏画集 第四集』

## 大臣賞受賞が繋げたお客様とのご縁！

(株)リーブル(高知) 取締役 島村 学

2年ぶりに開催されたジャグラ作品展の入賞作品が決定したことは、本誌先月号で既報の通りです。そこで今月号では、各部門の最高賞である大臣賞を受賞した会員企業に、制作に当たったの苦労話や裏話についてご寄稿いただきました。

×

### お客様の期待以上を目指し続けて

この度は令和2年度ジャグラ作品展・出版印刷部門において、名誉ある経済産業大臣賞を賜りまして誠にありがとうございます。弊社では日頃より、お客様にとってよりよいものを提供しようと試行錯誤を繰り返しておりますが、この度そのことが評価され、担当者をはじめ社員一同感激いたしております。

そして大変嬉しいことに、同作品展・経済産業大臣賞受賞は今回で3度目となります。最初は2012年に絵本『ひかるもの』で受賞。2度目は2016年にモノクロ写真集『炭都～ときの欠片と追憶の光～』で、そして3度目が今回の画集『仏画集 第四集』での受賞となりました。絵本・写真集・画集は、弊社が得意とする「グラフィック系出版」の三本柱であり、それらすべてにおいて評価をいただけたことは、非常に嬉しく感慨深いものがございます。

今回の受賞作品である『仏画集 第四集』は、作者・木村悦様が水彩で描かれた仏画作品をまとめた作品集で、そ

の名の通り、四集目にあたる作品集です。仏画は絹の生地に水彩で繊細に描かれており、それらを撮影し作品集としてまとめさせていただきました。『第四集』の説明をする前に、『第一集』がどのような経緯で出版に至ったかを、最初にお話しさせていただきます。

### 選ばれた決め手は2012年の経済産業大臣賞

作者である木村様は10年ほど前より、趣味で水彩仏画を描かれておりました。そして一定数作品を描きためた際に、それらを作品集として1冊にまとめたいと考え、出版社を探しておられたそうです。しかし、どのように探せば良いか迷い、相談を受けた娘さんがインターネットで画集や写真集を得意とする弊社を見つけ、お問い合わせをいただいたのです。その際に決め手となったのは、当時弊社ホームページ内で掲げていた「ジャグラ作品展 経済産業大臣賞受賞！」(1度目の受賞)の文字で、お母様に「リーブル出版というところが、大臣賞を受賞していて綺麗に印刷してくれそうだよ」と進言いただいたそうです。

そして木村様よりお電話があり、画集担当である私が東京のご自宅に伺い、お話をさせていただきました。作品は絹の生地に描かれ、タッチや色合いがとても繊細でした。また、すべて立派に額装されていたため、作品のスキャンは困難であると考え、弊社提携のカメラマンと相談し、

ご自宅で全作品を撮影することとしました。額装は残しつつガラスを外す作業が大変でしたが、なんとか全40点を撮影し、初校原稿を完成させました。その後は大幅な変更はなく、無事に『第一集』が発刊できました。

その後も木村様は精力的に絵を描き続け、毎年40点ほどの新作を完成させ、およそ1年おきに作品集を弊社にご依頼いただき、大変感謝いたしております。そして、今回の『第四集』について、ご本人より「高齢のため今回で最後にしたい」とご依頼があったのです。

### 作品点数少ないが、集大成として豪華に

「最後の作品集だから豪華にしたいけど、いつもの半分しか絵がないの」というお話から、今回の製作が始まりました。『第一集』から『第三集』では毎回40点ほどの絵が掲載され、90ページほどの作品集を製作しておりました。しかし今回の絵の点数は20点。これをもって集大成として豪華に見せるためにはどうすれば良いのか。

そもそもこれまでの作品集も比較的豪華な仕様でした。A4サイズのハードカバーに、表紙タイトルは銀箔押し。本文用紙もこれ以上ない発色の良いものを使用していました。作品点数が減ったとしても、集大成として豪華に見せるためには、工夫が必要でした。

まずページ数を増やす方法を考えました。1作品を、額装を含む写真と、額装を外したアップの写真の両方を掲載することにしました。しかしまだページ数は足りません。そこで巻末に、これまでの一集目から三集目までの作品をすべて集めた総集編となる章を設けました。さらに章扉を別丁扉(ラシャ)にし、全章すべて色を変えたうえで、章タイトルすべてを銀箔押しとすることで、ボリューム感に加え、ゴージャス感もアップさせました。

これでページ数の問題はクリアしましたが、「もう一押し、何かインパクトが欲しい!」と感じたため、金屏風に

描かれた作品に目を付け、その屏風部分に金色箔を使うことを考えました。すると担当デザイナーから、マイクロエンボス加工の箔押しにしたらどうかというアイデアが出てきました。単調な箔ではなく、本物の屏風のような風合いが演出できるため、華美になりすぎず、高貴で上品な印象を与えることができるとのこと。試してみるとこれは非常に効果的で、豪華さはあるものの作品を邪魔しないものでした。木村様も非常に感激しておられました。

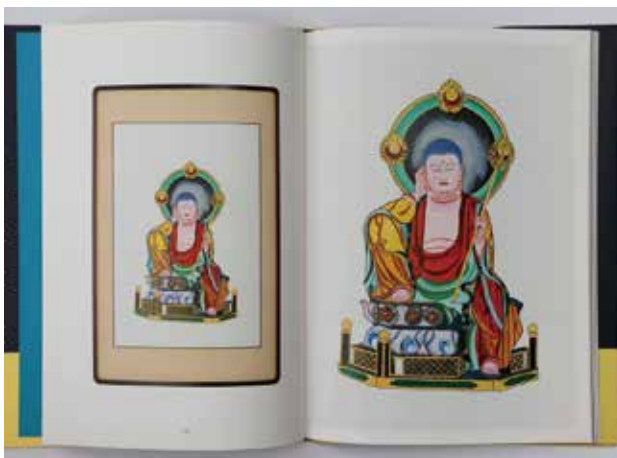
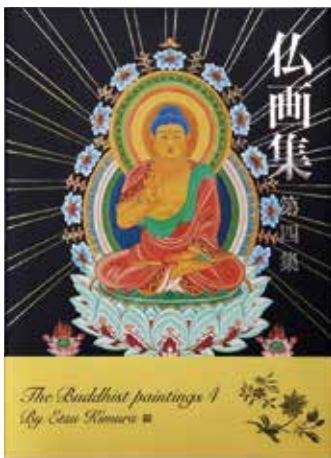
### 背景のトーンを合わせることで落ち着いた印象に

作品はほとんどが白い絹の生地に描かれています。撮影した作品をそのまま掲載すると、どうしても背景の白地にムラが生じてしまいます。それでは一冊の画集として安定感に欠け、品格を下げてしまいます。そのため一点一点の仏画を丁寧に切り抜き、背景を白にした上で、あらためて絹色に着色しています。そうすることで作品のトーンが一定となり、上品な仕上がりとなっています。そういった一見気づかないような細やかな気遣いの積み重ねが、実は非常に重要だと感じています。

これらにより、作品点数が少ないながらも、集大成として見応え十分な画集として仕上がりました。完成した『第四集』をご覧になった木村様は非常に感動し、「これほどのアイデアが詰まった作品集になるとは思いませんでした」とお声かけいただき、期待以上を目指した試行錯誤が報われたと感じました。

### 大臣賞受賞効果で全国より引き合いが

弊社は1997年に出版事業部を立ち上げ、県内のお客様を中心に本づくりをしてきました。そして2013年には、インターネットを通じて全国に向けた自費出版事業を開始しました。四国・高知というロケーションにありながらも、



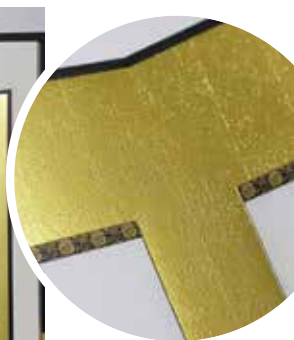
受賞作『仏画集 第四集』 左から表紙、扉、本文 仏画は全て切り抜き処理した後、背景を絹色に着色した



各章色違いの別丁扉、文字は銀箔押し加工を施した



金屏風部分にマイクロエンボス加工の金箔押しを施した(円内)





日本全国のお客様からご依頼をいただき、なかには海外のお客様もいらっしゃいます。ありがたいことに事業開始当初から多くのお客様よりお問い合わせをいただき、早い段階から事業が軌道に乗りました。その要因の一つが、弊社ホームページ内に掲げた「ジャグラ経済産業大臣賞（2012年）」という受賞歴でした。それが、写真集や画集といった印刷技術を重視するお客様の目に留まり、今日に至っています。

そして、高知にしながら全国のお客様に満足いただくため、「著者に寄り添う本づくり」をモットーに、出張での

打ち合わせや、お電話、丁寧なメール対応など、様々な力を尽くしてきました。

先日、今回の受賞の吉報を、作者・木村様に報告させていただきました。すると「あの大臣賞ですか！？」と大変驚かれておりました。弊社の1度目の同賞受賞をきっかけに、木村様は弊社を選ばれ、ついにはご自身の作品集で同賞受賞となったことを、とても喜んでいらっしゃいました。

コロナ禍となり社会は様変わりしていますが、著者の気持ちに寄り添う姿勢は変わることはありません。これから一書一書、丁寧な本づくりを続けていきたいと思っています。

## 業務用印刷物部門 厚生労働大臣賞 『TANT ツール箱』

# 品質向上の努力が受賞に繋がった！

望月印刷(株) (東京・城東) 総務部 牛込秀行

### 受賞作は「紙わざ展」の応募作品

この度、ジャグラ作品展業務用印刷物部門において、『TANT（タント） ツール箱』が厚生労働大臣賞を賜り、社員一同大変光栄なことで喜んでおります。誠にありがとうございます。

弊社は平素より「品質向上」を経営方針の大きな柱としており、このような栄誉ある賞をいただけますと、それらの取り組みが実を結んできていると心強く思えます。

今回の受賞作品は、特種東海製紙(株)主催のコンテスト「紙わざ展」に出展した応募作品です。「紙わざ展」は、1991年に始まる特種東海製紙(株)が主催する、紙を素材とした自由な発想と創作をテーマとするアートコンペティション (<https://twitter.com/kamiwazaaward>) で、これまでの応募総数は 4000 点を超えるとお聞きしています。

受賞作品は同社が製造している用紙 TANT の良さや様々な用途などを紹介するために作った「ツール箱」で、金箔押し、シルク、合紙、型抜き等の特殊加工を施しております。デザインは、廣村デザイン事務所様によるものです。

デザイナー様からいただいた原稿と設計図に基づき、弊社で製作させていただきました。また協力会社様にも多くの点で助けていただいております。

ツール箱の中には「アロマ」や「チョコレート」を収めることを想定して作られています。それぞれ、「TANT アロマ外箱＋スリーブ」「チョコレート箱（インロー式）」と呼んでいます。

TANT アロマ外箱＋スリーブの仕様は、スリーブとトレー共に、合紙をしています。スリーブにはカラフルな中箱が見えるように天面に抜き加工と、銀箔押しがされています。中箱の仕様は、タントの色が異なる用紙を合紙し、天面に

白の箔押しをしています。中箱は 8 種類ありそれぞれ異なる色の用紙で作成しておりますので、スリーブを外した際に、とても色鮮やかな見た目になっています。

チョコレート箱（インロー式）の仕様は、合紙をして天面に金箔押しをしています。中箱は 6 種あり、TANT アロマの中箱同様に、色が異なる用紙を合紙し、金箔押しと、シルク印刷をしています。

今回の製品は展示会でほぼ一品物として展示されるものでしたので、通常の印刷物とは違った面で制作するうえで苦労した点がたくさんありました。

アロマ外箱＋スリーブで苦労した点は、中箱を 8 種各 2 個収めた際に、隙間が無く、それでいてきつくないように何度も抜型や手による組立作業を行い調整しました。中箱で苦労した点は、8 種類それぞれの名称が入った細かな箔押しをするのですが、紙の部位により、カスレや抜けが見えるため、用紙の加工部位を選定し、紙の素材と箔押しが美しく見えるよう作業致しました。

また、チョコレート箱で外箱の苦労した点は、箱にふたをした際のサイズ感の調整や、手作業で箱に紙を貼る作業では、シワが出来ないように注意し作業しました。中箱の苦労した点は、中箱は 2 枚の用紙を合紙するのですが、内側の紙が見えるように、表側の紙に穴をあける仕様になっております。通常、合紙を行う自動機ではその穴より糊がはみ出てしまうため、手作業にて合紙作業を行いました。

シルク印刷の色味では、6 種作成している中箱の、天面の窓より見える内側の紙の色と同じに刷れるように、何度も調合を行い作業いたしました。かなりの部分が手作業での製造になっていきますので、大量生産の印刷物にはない高級感が出せたのではないかと思います。

### 印刷機のメンテナンスは最優先事項

品質向上の取り組みが今回の受賞につながっている面が大きいのではないかと考えておりますので、この場を借りまして、私どもの取り組んでいる品質向上の活動をご紹介します。特に目新しいことをしているわけではなく、印刷業の方々はみなやっていることではないかとも思いますが、基本が大切だと考えています。

現在、弊社では品質向上のためにオフセット印刷機では月一、週一、朝一の定期メンテナンスを行っています。他の機器でも整理・整頓・清掃の 3S 活動を行っています。

メンテナンスの指導は、印刷コンサルタントの株式会社 L&S の林兼明先生にお願いしております。本格的にメンテナンス活動を始めて 5 年ほどになります。お恥ずかしい話

ではありますが、それ以前には、「仕事がなくて手が空いたときにメンテナンスをすればよい」「メンテナンスより印刷機を回す方が優先」という考え方があり、メンテナンスが後回しになっていました。

確かに印刷業の方々ならご存じのように印刷では入稿待ち・下版待ち・下版外れが日常茶飯事で、手すき時間はそれなりに発生します。そういう時間をメンテナンスに充てるというのは理屈上ではあり得ます。しかし現実には、そういう形ではなかなかきちんとしたメンテナンスはできません。空いた時間ではメンテナンスの項目全てをやりきることができないことが多く、次の空いた時間までメンテナンス作業が中断されてしまいます。そうすると、ついついチェックが甘くなったりするものです。社長の「印刷機を回すよりもメンテナンスを優先に」という指示で、印刷予定よりメンテナンス日程を先に決め、優先的に行うように改めました。

### ヤレ減少でコスト削減、社員の意識も高まった

また、今年から社内で印刷オペレーターコンテストを始めました。9 月に行ったコンテストでは、入社 1 年目の女性社員が満点を獲得しました。時間を取って落ち着いてメンテナンスをしていますので、機械への理解も深まるのかもしれない。その結果、取り組み前と比べヤレ（ミス・トラブル）対応に掛かっていた費用が、10 分の 1 以下まで下がりました。たとえ製造中にヤレが出ても納品前に止められていますので、お客様からのクレームもほぼなくなりました。

メンテナンスをきちんとしていますので、運転中の不測の事態も減り、オペレーターも安心して作業に集中できています。メンテナンス時間以上の生産性向上になっています。オペレーターの精神衛生的にも良くなっているのか、職場の雰囲気も明るくなってきています。また、印刷の品質が安定し、印刷のヤレも出なくなると他の工程の品質も自ずと上がってきます。皆の意識が高くなっていくのだと思います。

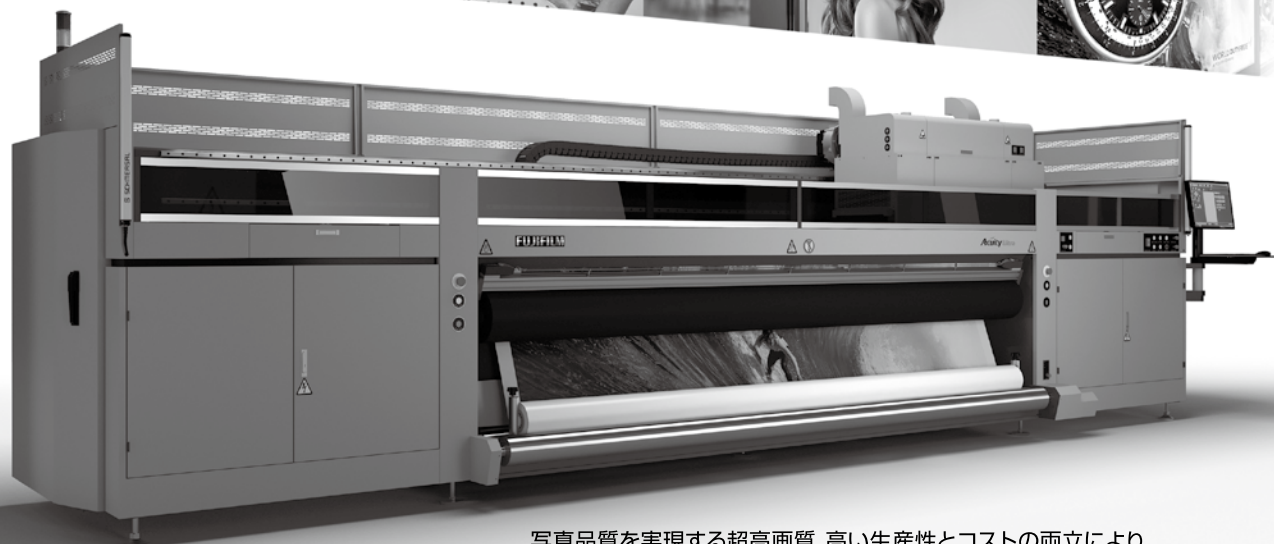
そういう印刷物を継続して納品していく中で、お客様に望月印刷は信頼できると思っていただけ、今回のような高い品質を要求される案件を発注いただけたのではないかと考えています。

今後もこれに慢心することなく、品質向上に取り組みお客様により満足していただけるよう社員一同取り組んでいく所存です。

受賞作『TANT ツール箱』 「アロマ」と「チョコレート」のパッケージを想定して展示会用に創られた



# スーパーワイドの 新基準



写真品質を実現する超高画質、高い生産性とコストの両立により、  
今までにない高いパフォーマンスを発揮。  
屋外サインから、店舗内用の高画質カラーコルトン、  
内照式ソフトサイネージ、壁紙、ウィンドウグラフィックなど、  
あらゆる高付加価値アプリケーションに応えます。

超高画質・高速UVインクジェットロールプリンター  
**Acuity Ultra** 近日発売  
3200Series 5000Series

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社  
東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル ■お問い合わせ ワイドフォーマット営業部 TEL.03-6419-0850

# TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



**Lithmatic**  
http://www.lithmatic.net



# ジャグラDX始動！⑤

## 地域活性化とDXの融合（後編）

ジャグラDXWG 委員 / (株)ニシキプリント

宮崎 真



### まえがき

先月号の前編では、我々ジャグラ会員の原点である「地域密着＝印刷会社こそが地域活性化に繋がっていた」という振り返りと、ジャグラDXを手段とする「地域活性化」の考え方についてお伝えしました。DXによる顧客接点のデジタル化は必須であり、今こそジャグラの諸先輩方が繋いでくれた「ジャグラ・ビジョン2010」の「顧客価値を捉えて受注から創注へ」を目指し、企業文化を大きく変えることが必要です。

そこでこの後編では、実際にDXを活用し、「地域活性化」の視点で積極的にアプローチしている3つの会員企業の実例をご紹介します。

### ジャグラ会員のアプローチ事例

#### 【事例1】健康診断の案内状をDX化し課題解決～東海地協の実例～

この会員企業は、顧客企業が設置する健康保険組合の様々な窓口の方から、特定健康診査による生活習慣病の予防や改善の促進、そのための受診率の向上、集合契約の促進などの相談を受けていました。問題は、健康保険組合が被扶養者向けに実施する特定健康診査で、対象者のエリア外の健診機関まで掲載された一覧を健診案内と一緒に送付

し、さらに受診希望者に受診券を手作業で送っていたことでした。作業の煩雑さにもかかわらず、受け取った側が案内の内容を理解できない、あるいは受診する健診機関を自分で一覧から見つけたり、検索したうえで予約しなければならない大変さから、受診率が上がらず、生活習慣病の予防改善になかなか繋がりませんでした。

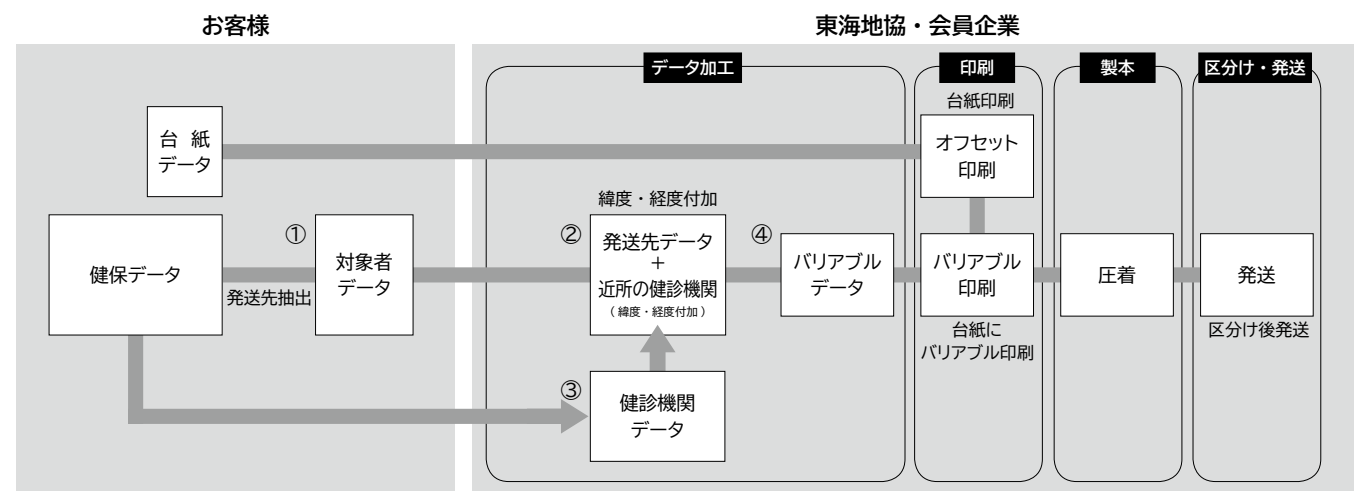
そこでこの会員企業は、手作業で行っていた受診券と健診の案内を一体化したDMを作成。健診機関も送り先（対象者住所）に近い機関をバリアブル印刷で処理するシステムを構築しました。その結果、対象者（被扶養者）の健診機関の選択から受診までの手間を大幅に削減し、紙面もわかりやすいデザインにしたことで受診率が向上。さらに案内状と受診券、近くの健診機関を一体化した圧着DMにより印刷コストの低減を図り、お客様課題を解決しました。

#### 【事例2】小売業の集客プロセスにおけるDXテスト展開～東京地協の実例～

印刷業界青年部最大イベントで2018年2月に行われたPrintNext2018の東京ブロックの実例です。

印刷会社から小売業の顧客へソリューション提案を行う際に、従来のアナログ手法よりも消費者の動きを数字で把握できるデジタル手法のアプローチが有効であると考え、優先順位の高い集客のためのプロセスを顧客へ提案できるようになりました（PrintNextでは検証発表のみ）。

集客のためのプロセス検証を目的として、今では若者も

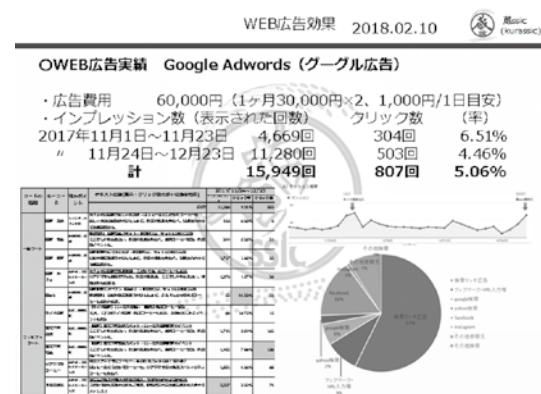


【事例1】健康診断の案内状をDX化して課題解決した例

多く移り住み東京のブルックリンと呼ばれる蔵前（浅草）の印刷会社の1階をお借りして、集客の箱＝模擬小売店を2か月限定で開設しました。蔵前はカフェの町としての知名度が高く、また江戸時代に幕府の御米蔵として栄えていたことにちなんで、コーヒーとお米を販売することにしました。

集客方法として、アナログ手法のチラシを周辺の小売店12店舗へ30枚ずつ、また東京大田区で開催される40万人来場のイベントへブースを出展、チラシ1500枚配布、デジタル手法では、Web広告（グーグル広告）、SNS広告（フェイスブック、インスタグラム）をそれぞれ広告予算6万円と1万円の計7万円を使って集客を図り、効果を検証しました。

2か月間で464名（業界関係者62名、業界外402名）の来客者のうち、チラシ持参の集客は1名、WebやSNS広告、SNS拡散からの集客は7名でした。来客人数だけ見れば小さい数字ですが、Web広告やSNS広告を閲覧した3万358名について詳細に分析することができました。アプローチ



【事例2】小売業の集客プロセスにおけるDXテスト展開～東京地協の実例～  
2か月限定店舗の様子とPrintNextにおける発表資料の一部

### ジャグラDX始動！⑤

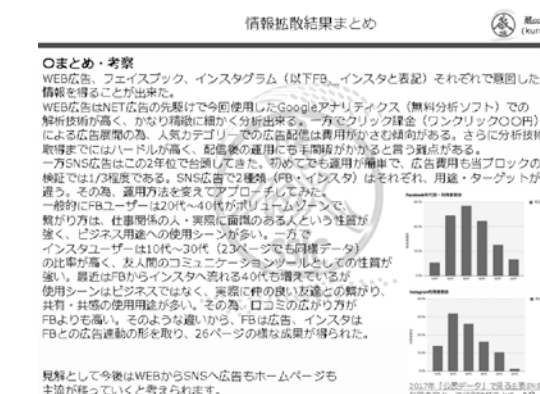
の費用対効果はデジタル媒体が圧倒的に高く、動線がわかるので次のソリューション提案に繋がられます。

PrintNextでは発表のみでしたが、この手法（すなわちアプローチをDX化したもの）を用い顧客へ新しいアプローチを提案することで、既存の配布チラシや店内ポスター、DMなどの継続受注にも繋がります。この考え方を基に顧客へ提案した実例が事例3になります。

#### 【事例3】新規開拓営業向けツール提供×DM継続受注～東京地協の実例～

会員企業が企業年金基金（お客様）へ提供したサービス事例です。

お客様が抱えていた課題は、コロナ禍での新規開拓方法でした。従来は医療やIT業界ベンチャーの顧客リストをもとに電話で訪問アポイントをとり、客先に出かけて商品説明をしていました。しかしコロナ禍でそれができなくなり、現在は商品説明用パンフレットをOPP袋に入れて発送し、後









# Horizon

## Change the focus

## iCE Series 誕生

### Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。  
ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。  
さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

#### 生産性と折り品質が向上

##### iCE FOLDER 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



#### 作業効率と製本品質が向上

##### iCE BINDER 無線綴じ機 BQ-500

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるバリエーション製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い本身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



#### 高生産性と自動化を追求

##### iCE TRIMMER 三方断裁機 HT-300

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361 (代) FAX.03-3863-5360  
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631 (代) FAX.03-3652-8083  
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060 (代) FAX.075-933-4025  
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111 (代) FAX.092-626-8112

# 年会費2万円で

取引先との  
トラブルを、  
解決したい！

個人情報保護  
の覚書って、  
どう書くの？

基本契約書の  
内容チェック  
どうやるの？

専任弁護士を  
雇う余裕は  
無いしなあ...

# 法律相談

## 法律相談ネットワーク

ほうしんかい

# 「グラフィックス法親会」のご案内

### 皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近は経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスをもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも50万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持つ」というジャグラ会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまで様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げる次第です。皆様のご参加をお待ちしております。

#### 法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要

- |        |                                                   |                                                          |
|--------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ● 専任   | 山本正 / 岡田尚人 弁護士                                    | ● 事務代行（入会申込先・問い合わせ先）                                     |
| ● 会費   | 20,000円 / 年（税別）<br>※年度途中入会は月割換算（年度末12/31）         | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・事務局<br>東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 |
| ● 会員特典 | ① 無料相談（随時）<br>※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応<br>② 情報交換会（適時開催） | 電話 03-3667-2271<br>ファクス 03-3661-9006                     |

#### 入会申込書

申込日 20 年 月 日

**fax.03-3661-9006**

|      |      |        |
|------|------|--------|
| フリガナ | フリガナ |        |
| 社名   | 氏名   |        |
| 住所   | 〒    |        |
| Tel  | Fax  | E-Mail |



経産省・中小企業庁

# 「事業再構築補助金」のご案内

ポスト&ウィズコロナ時代を見据えた中小企業の取り組みを支援

経済産業省・中小企業庁では、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売り上げの回復が期待しづらい中、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために、中小企業等の事業再構築を支援する「事業再構築補助金」の募集を開始しました。

×

## 概要

概要は右記特設サイトの通りです。主要申請要件として以下の3点が挙げられています。

- ①売上が減っている
- ②新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編に取り組む
- ③認定経営革新等支援機関と事業計画を策定する

## ジャグラ本部にご相談を

本補助金のご活用をお考えの会員企業は、まず、ジャグラ本部にご相談ください。状況をお伺いし、以前よりご相談窓口をお願いしているジャグラ会員でもあるTFSパートナーズ様（東京・新宿）に引継ぎさせていただきます。

※なお、本補助金についての説明動画を作成する予定です。

### ◎TFSパートナーズ（新宿支部）

TFS国際税理士法人【認定経営革新等支援機関】

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11 山一ビル5階

TEL：03-3225-6400（代）FAX：03-3225-6405（代）

<https://www.tfsnavi.jp/tkc-corona>



詳細は特設サイトでご案内しています  
<https://jigyousaikouchiku.jp/>

## 第4回公募の申請受付は11月中の予定

第4回公募の公募期間は10月28日から12月21日までです。申請の受付開始は11月中を予定しております。

なお、第3回公募から最低賃金引上げの影響を受ける事業者向けに、新たに最低賃金枠を設けています。最低賃金枠は、緊急事態宣言特別枠に比べて採択率において優遇されますので、積極的な活用をご検討ください。



全国どこからでも受講できる  
**オンライン指導ご相談受付中**  
Illustrator・Photoshop・InDesign・Lightroom・Acrobat・  
印刷用PDF・Dreamweaver・ウェブ基礎・ウェブアクセス解析・  
HTML・CSS・WordPress・JavaScript・Premiere Pro・  
After Effects・映像制作基礎 ほか全36講座

**ジャグラ本部9F JaGraプロフェッショナルDTP&Webスクール**

<https://www.jagra.or.jp/school/>



# ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

## 21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ

**SHOWA会**

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

**SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149**



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149



# 印刷産業のSDGs～日印産連「低炭素社会実行計画」から 2030年の印刷産業到達目標は、2010年比で31.2%減



東京グラフィックス専務理事 **斎藤 成**

ジャグラなど印刷関連 10 団体で組織する（一社）日本印刷産業連合会は、地球温暖化対策と循環型社会形成を推進するため、今春、経済産業省へ印刷業界の自主行動計画を策定し『低炭素社会実行計画』を提出、同時に公表しているので、その概要を紹介する。

計画によると、2030 年目標設定として、①国内の企業活動における 2030 年目標、②低炭素製品・サービス等による他部門での削減、③海外での削減貢献、④革新的技術の開発・導入、⑤その他の取組・特記事項、を掲げている（表参照）。

印刷業界の「低炭素社会実行計画」（2030 年目標）

|                            |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 国内の企業活動における 2030 年の削減目標 | 目標<br>設定根拠 | CO <sub>2</sub> 排出量 2010 年度比▲ 31.2%（2030 年度の CO <sub>2</sub> 排出量：74.7 万 t – CO <sub>2</sub> ）<br><br>①対象とする事業領域：印刷製造工程<br>②将来見通し：印刷業界の生産動向と活動の連続性を考慮し、2020 年度の「低炭素社会実行計画」に則り、2020 年度以降の自主行動計画参加企業の年間売上高を 3 兆 2000 億円の同一水準（横這い）とし、2018 年度の原油換算原単位 16.9KL/ 億円を毎年前年より 1% 改善し、2030 年度には 15.0KL/ 億円（基準年度比：70.8%）とし、CO <sub>2</sub> 排出量を 108.5 万 t から 33.8 万 t 削減し、74.7 万 t（基準年度比：68.8%）とすることを目指す。<br>③BAT：下記 4. の印刷設備の導入促進、低温乾燥および印刷時の乾燥工程の省エネ推進、デジタルワークフローの拡大を図る。<br>※ BAT = Best Available Technology / ベスト・アヴェイラブル・テクノロジー。利用可能な最良の技術<br>④電力排出係数：0.316kg – CO <sub>2</sub> /kWh（2010 年度調整後排出係数、発電端）<br>⑤その他：熱エネルギーの換算係数は 2010 年度と同じ |
| 2. 国内の企業活動における 2030 年の削減目標 |            | 概要・削減貢献量：（未算定）<br>①GP製品のサプライチェーン全体での採用拡大<br>②CLOMA や印刷資材メーカーの活動への参加<br>※ CLOMA = Clean Ocean Material Alliance / グリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス。海洋プラスチックごみを削減するためには、ポイ捨て防止の徹底をはじめとする廃棄物の適正管理に加え、プラスチック製品の3Rの取組のより一層の強化や、生分解性に優れたプラスチック、紙等の代替素材の開発と普及の促進などの対応が求められている。<br>③製品の軽量化<br>④地球環境に配慮した用紙・資材の採用                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3. 海外での削減貢献                |            | 概要・削減貢献量：（未算定）<br>①世界印刷会議（WPCF）、アジア印刷会議（FAPGA）等での国際交流を通じて、各国との情報交換および日本の印刷業界における工程改善並びに省エネ技術の紹介等、国際貢献を図る。<br>②環境技術標準化の推進（ISO TC130 WG11 での活動）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 4. 革新的技術の開発・導入             |            | 概要・削減貢献量：（未算定）<br>①印刷設備：省エネ型印刷機の導入（デジタル印刷機の導入促進、高効率印刷機の導入促進）<br>②乾燥工程の高効率化：UV光源をLED光源に代替／グラビア印刷版の浅版化／印刷インキのハイソリッド化／乾燥・脱臭廃熱の有効利用<br>③デジタルワークフローの拡大、中間生成物の削減                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 5. その他の取組・特記事項             |            | 該当次項なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

詳細は [https://www.fjpi.or.jp/files/user/pdf/kankyo/2020jishukoudou\\_houkoku.pdf](https://www.fjpi.or.jp/files/user/pdf/kankyo/2020jishukoudou_houkoku.pdf) を参照（A4 判 61 ページのうちの 2 ページ目の表）

上記計画では、低炭素社会実現に取り組んでいる印刷業界の現状についても記述があるので、以下、いくつか抜粋して紹介しておく。

## 国内の企業活動における削減実績

生産活動量：2019年度実績 3 兆 2344 億円

<考察> 紙媒体は電子化、デジタル化による減少傾向が続いており、特に出版関係は雑誌の減少に歯止めがかからず大幅な落ち込みが続く他、企業の広告宣伝物も新型コロナウイルスの影響を受け、年度末から急速に減少している。一方、軟包装分野は堅調に推移していたものの、昨今の海洋プラスチックごみ問題の影響で予断を許さない。

その中で印刷業界は従来の受託型の「印刷物の製造」にとどまらず、印刷の前工程であるデータを加工する過程で得られた「情報加工」のノウハウを生かした「デジタルコンテンツ」の制作や、企画等のソフト分野、BPO（アウトソーシング）の受皿の業務など、モノづくりに比べてエネルギー消費量の少ない分野の売上げを伸ばしており、顧客が保有する情報をより価値のあるものへと創造する「情報価値創造産業」へと転換を進めている。業界全体の売上は減少しているものの、低炭素社会実行計画参加企業の売上は 2018 年度実績に対し微減にとどまっている。

## 低炭素製品・サービス等による他部門での貢献

- ①環境に配慮したGP製品の採用拡大を進め、サプライチェーン全体で CO<sub>2</sub> を削減する。
- ②「海洋プラスチックごみ問題」がグローブアップされる中、バイオマスプラスチックの利用に期待する声も高まっており、印

| お | 知 | ら | せ |

## 日印産連の GP マーク普及準大賞 (株)文伸さんが 5 年連続受賞

ジャグラなど印刷関連 10 団体で組織する（一社）日本印刷産業連合会（日印産連）は、このほど 2021 年の「グリーンプリンティング（GP）認定制度」の 3 賞（GP 環境大賞 / GP マーク普及大賞 / GP 資機材環境大賞）を発表し、ジャグラ会員の(株)文伸（東京・三多摩）が、「GP マーク普及準大賞（オフセット印刷部門）」を受賞しました。

×

日印産連は印刷業界の環境配慮自主基準を達成した工場・事業所を認定するとともに、同基準に適合した印刷製品への GP マーク表示、並びに印刷工場が使用する資機材の認定など、印刷総合環境配慮制度「GP 認定制度」の取組みを進めています。「2021GP マーク普及大賞」は、GP マーク表示に貢献した GP 認定工場を表彰するもので、今回、オフセット部門の普及大賞として 3 社、普及準大賞として(株)文伸さんを含む 6 社が表彰されました。

刷業界からも経済産業省主導で行われている CLOMA に参加し、川上・川下業界と連携して、「海洋プラスチックごみ問題」と CO<sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。

- ③印刷資材メーカーが行っているプロジェクトに参加し、アルミ版の回収・再製造に関わる CO<sub>2</sub> を削減する取組に参加する印刷会社が増えている。
- ④製品軽量化については、輸送エネルギーの削減他に貢献している。
- ⑤印刷業界として、石油化学製品の使用量削減を目的とした「環境対応型インキ」の拡大や、森林資源の保護に結び付く森林認証用紙の採用拡大を進めている。

## 【2020 年度以降の取組予定】

- ①GP認定制度を拡充し、登録事業所数をさらに増やすとともに、官公庁や関連する団体並びに各企業にGPの採用を働き掛け、環境に配慮した印刷物を増やす。
- ②環境関連団体への協賛や、ステークホルダーとの連携等、広範な活動を実施していく。

## 革新的技術の開発・導入

- ①小ロット、短納期に対応したデジタル印刷機への転換によりムダ・ロスを削減する。
- ②高効率印刷機への転換による、電力使用量削減並びに立ち上げロスの削減を進める。
- ③乾燥装置として使われる UV 光源を LED 光源に変更し、省エ

同社の普及準大賞受賞は 5 年連続となる快挙ですが、これに加えて今回は、同社の顧客である全国間税会総連合会様 / 東京都三鷹市様 / 武蔵野赤十字病院様も、「2021GP 環境準大賞」を受賞しました。今回の快挙に同社は「今後とも、武蔵野三鷹エリアをはじめとした東京都西部の地域に根差した印刷会社として、SDGs に向けた取り組みとしての GP 普及促進に努め、お客様とともに地域ぐるみでの環境負荷の低減に取り組んでまいります」と話しています。



本誌2021年7月号で同社の環境への取組みを紹介しています



ネを図る。

④電力使用のデマンド管理、エネルギー管理システムの採用等により、エネルギー使用実績の見える化とムダ・ロスの顕在化を進め、省エネに取り組む。

#### 【2020 年度の取組】

印刷業界はハードの印刷物の製造に留まらず、印刷物を製造する過程で得られた情報加工のノウハウを生かした「情報価値創造産業」への転換を進めており、印刷に関わるデータを最適なかたちで加工して配信する業務や、デジタル印刷機によるオンデマンド印刷や小ロット・可変印刷と、大量生産型の印刷物を組み合わせるクライアントへ提案・提供していくことや、印刷業界がお互いに連携して効率的な業務を進めるために、DX（デジタル・トランスフォーメーション）への移行を進めていく。

#### 【2030 年へ向けた取組予定】

DX への移行を進め、サプライチェーン全体でデジタルワークフローを拡大させ、自工程にとどまらずステークホルダー全体で中間生成物を削減することで、製造並びに輸送や人の移動に関わるCO<sub>2</sub>を削減させる。

#### 情報発信、その他

①低炭素社会実行計画のフォローアップ内容並びに参加企業名

を日印産連のホームページに掲載し、会員企業やステークホルダーに周知している。

②印刷環境配慮基準であるグリーンプリンティング認定基準への参加を促している。また、「印刷産業環境優良工場表彰」の基準の一つに、本計画への参加を盛り込んでいる。

③日印産連として 2015 年に国連のグローバルコンパクトへの賛同を表明し、SDGs を念頭においた活動を展開している。

#### 【その他（他部門への働き掛けによる CO<sub>2</sub> 削減）】

①印刷産業は受注産業であり、「短納期対応」、「急な予定変更」、「分断進行」、「分割納入」等、発注者の意向で決められることが多く、製造側の要望が反映されにくいと、計画的な生産や省エネがやりにくい。得意先への説明を地道に行い、環境問題への理解を深めて協力を得られるよう努める。

②印刷製品の中で、実用上全く問題なく、かつほとんどの人が気付かないような微細なピンホールや色ムラを不良品として廃棄するケースが散見され、作り直しによるCO<sub>2</sub>が発生している。業界として「品質ガイドライン」を作成し、得意先への理解を得るための活動を行っているが、さらに強化すべく、行政と連携したムダ・ロス削減のキャンペーン等により、幅広く周知していく。

以上

## Column

### ～下請け製造業の新ビジネスモデル～

e- 中小企業ネットマガジン Vol.989 より転載 (https://mail-news.smrj.go.jp/)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛要請に伴い、大きな影響を受けたのが企業の営業部門だ。リアルに訪問しての営業が難しいため、ビデオ会議システムを活用した面談による営業が増え、定期的にメールマガジンを作成・送信して顧客をつなぎとめようとする企業も少なくない。そうした中、紙の「新聞」を営業ツールとして作成・活用したのが、坂井製作所（岐阜県各務原市）である。

自社の最新情報や顧客の声、社員紹介などを掲載した「SAKAI 新聞」を創刊。顧客や顧客候補、受注が遠ざかっている顧客に送付した。その上で、電話で顧客接点回数を高め、ブログやインスタグラムの更新も増やした。「営業ができない時だからこそ、どうやって営業をするかを考え、実行した」と藤田斉社長は振り返る。

同社は従業員数 38 人で、水栓金具やバルブ部品などを受託加工・組立する、いわゆる下請け製造業。ただ「新聞」の創刊により、3社が工場を見学し、6 社から見積りをもらい、新規顧客 2 社の獲得につながった。顧客を紹介してもらい、営業回数も増え、仕入先との情報共有のきっかけも増えたという。この結果、コロナ前の 2020 年 3 月期に 9 億円だった売上高は、21 年 3 月期はコロナ禍にもかかわらず 9 億 8000 万円へと増収を達成した。

藤田さんは、以前から協業し合う関係だった野村精機（岐阜県海津市、自動車・医療機器などの部品加工）の業績もV字回

復させた。「3 代目社長（2 代目社長の奥様）から後継者がいないと相談されたため」、岐阜県事業承継・引継ぎセンターを介して 1 年かけて 20 年 10 月に買収した。その後、8 社にトップセールスして重点営業顧客を 2 社に絞り、重点顧客の受注を 3 倍に増やした。新規顧客 2 社も獲得した。21 年 6 月の売上高は前年同月比で 3 倍となり、過去 5 年間で単月売上が最高となった。

2015 年 12 月には、主要顧客の子会社だったサンエース（岐阜県各務原市、水栓金具・バルブ部品の試験・組立）を買収しており、今後は坂井製作所の営業人員を増やし、グループ 3 社の営業を担う方針だ。さらに同様の下請け製造業を対象に、今後 5 年間で 4 ～ 5 社程度、友好的な M & A（企業の合併・買収）を進めたいと計画している。

後継者不在による廃業を少しでも防ぎ、日本のものづくり力を維持・発展させたいと思うからだ。また従来のぶら下がり型の製造業体系は崩壊し、中小零細企業こそ営業力を磨かなければならないと感じているからである。「小さい会社は経営者かその息子が営業するだけで、いつまでも自社目線の技術視点から抜け出せない。それを回避するためには、ある程度の規模感を持つ企業グループに成長し、営業を組織化・仕組み化しなければならない」という。その受け皿として、3 月に「SAKAI ホールディングス」という会社を設立した。藤田さんは「下請け製造業の新たなビジネスモデルを日本に発信する」という経営ビジョンを掲げ、中小製造業の新たな姿を提示したいと考えている。

# ジャグラBB JaGra Broadband Contents Service HOTNEWS 2021年11月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

## しっかり学ぶ！「読書の秋」ならぬ「鑑賞の秋」 JagraBB委員会が選ぶ おすすめ番組ラインナップ！！



工場探訪  
菁文堂株式会社



カテゴリー ニュース 工場探訪



【BTube】九州ツーリング  
(東京都・株式会社ケイスイ  
小林様 投稿作品)



カテゴリー BBネットワーク B Tube



Acrobat & PDF  
ベーシックトレーニング  
(step-4 効率化/Tips)



カテゴリー 教育と技術 ジャグラスクールBasicシリーズ



Photoshop  
ベーシックトレーニング  
(全6章+作例)



カテゴリー 教育と技術 ジャグラスクールBasicシリーズ



オンライン勉強会  
「印刷DX ～ サプライヤーの  
視点と提供価値」  
(主催：日本印刷機材協議会)



カテゴリー セミナー 経営者向け



竹平晃子のタイトル未定!  
(ジャグラニュース番外編)



カテゴリー ニュース ニュース・業界情報



【緊急企画】  
我々はこの様に生き残るか!  
緊急座談会[第1部]



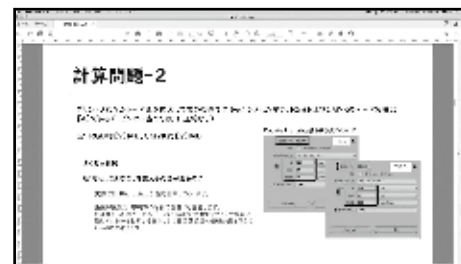
カテゴリー 経営 企業経営



【緊急企画】  
我々はこの様に生き残るか!  
緊急座談会[第2部]



カテゴリー 経営 企業経営



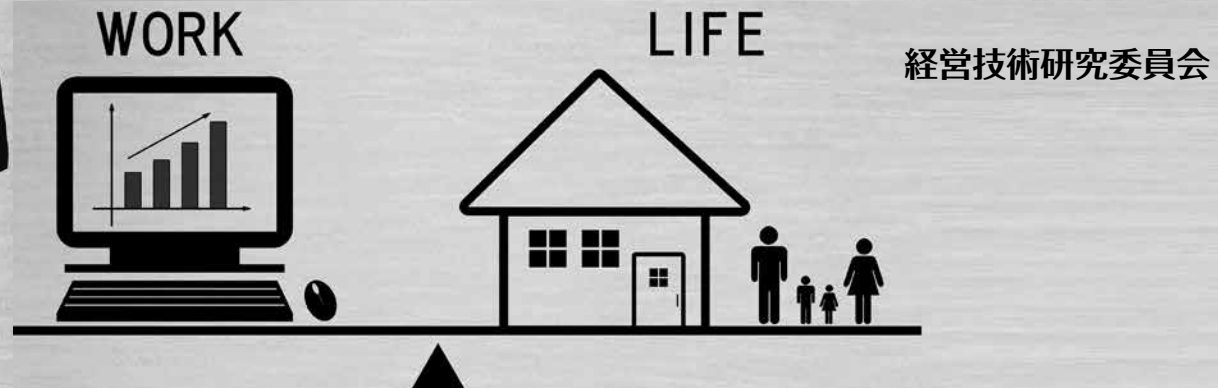
DTPに関する資格試験・検定制度  
-DTPエキスパート認証試験  
計算問題解説-(全7巻)  
一部改訂



カテゴリー 教育と技術 DTP



# 中小印刷業の 働き方改革を考える③



## 広島・(株)広瀬印刷さんの事例

経営技術研究委員会※（向井一澄委員長）では、2020年から2021年度の2年間を活動の単位とし、企業を取り巻く働き方改革、コンプライアンス、SDGs、コロナ対応等のさまざまな経営環境の変化をテーマに、議論を重ねているところです。

なかでも、対応が急務とされる「働き方改革」について、先進的な取り組みをしているジャグラ会員企業へ取材を行い、「中小企業にも効果のある働き方改革」の事例を紹介することを委員会活動の主軸としました。

取材は、アンケートシート記入による1次取材と、Zoomでのオンライン2次取材で実施することを基本とし、必要に応じて追加取材・現地取材を行います。取材結果は最終的に「報告書」として取りまとめ、会員の皆様に情報発信する予定です。

今月は広島県支部の(株)広瀬印刷さんの取り組みをご紹介します。

## PROFILE

### ●取材企業のプロフィール

会 社 名 (株)広瀬印刷  
創 業 1951 年  
代 表 者 瀬 尾 淳  
所 在 地 広島県広島市  
年 商 3 億 5000 万円  
従 業 員 17 名（役員含む）



経営理念 ・ お客様から依頼された情報を効果的に発信できる製品・サービスを提供し、人々の暮らしを豊かにすることで社会へ貢献します。  
・ 仕事を通してお客様に信頼される価値を創造し、環境保護に努めることで従業員をはじめ全ての人が誇れる企業を築きます。

同 社 HP <https://www.hiroseprint.com/>



### ※経営技術研究委員会

|      |       |                      |
|------|-------|----------------------|
| 担当理事 | 宮崎 真  | (株)ニシキプリント（広島） / 副会長 |
| 委員長  | 向井 一澄 | 大更印刷(株)（岩手） / 理事     |
| 副委員長 | 樋貝 浩久 | (有)東和プリント社（山梨） / 理事  |
| 委員   | 渡辺 辰美 | (株)あいわプリント（北海道） / 理事 |
|      | 熊谷 晴樹 | 創文印刷出版(株)（宮城） / 理事   |
|      | 伊東 邦彦 | キング印刷(株)（福島）         |
|      | 稲本 創  | (株)いなもと印刷（茨城）        |
|      | 竹内 正敏 | (有)富士タイプ製本所（愛知）      |
|      | 安達 睦男 | (有)舞鶴孔版（大分）          |
| 事務局  | 阿部奈津子 |                      |

# STEP-1

## アンケートシート記入による 1 次調査

### Q1. 働き方改革に取り組む狙いは何ですか？

弊社の場合、「働き方改革に取り組む」と宣言して何かを始めたわけではない。長期雇用に向けて安定した就業条件を出すうちに、働き方改革という言葉が流行った感がある。

### Q2. 働き方改革に取り組み始めた時期は？

2017 年くらいから。

### Q3. その当時の時代認識、自社の状況認識は？

社員が雇用について意識していない状況であった。仕事さえすれば良いという雰囲気があった。

### Q4. 働き方改革の着手を決断した際の心境は？

産休後の復帰率がゼロであったために、産休後の復帰率向上を目的とした。

### Q5. 働き方改革にどのような手順で着手しましたか？

- ①就業規則の改訂
- ②労働条件通知書の設定
- ③機密情報保護の規定整備・署名
- ④営業部門・労働条件の改訂
- ⑤各種手当の見直し
- ⑥職級職能制度の内部導入

### Q6. 政府が推進する次の働き方改革のうち、御社の取り組み状況は？

- ①非正規雇用の待遇差改善→対応
  - ※ 2019 年度より賞与との支給
- ②長時間労働の是正→対応
- ③柔軟な働き方ができる環境づくり→対応
  - ※テレワークの段階的導入
- ④ダイバーシティの推進→対応
  - ※職級職能制度の内部導入
- ⑤賃金引き上げと労働生産性向上→対応
  - ※在職年数の給与算定・有給前後の残業規制

### ⑥再就職支援と人材育成→対応

※資格補助金制の導入・資格手当導入

### ⑦ハラスメント防止対策→対応予定なし

### Q7. Q6 で「対応」と回答した項目について、具体的な取り組み内容は？

回答なし

### Q8. Q6 で「対応予定なし」の理由は？

### ⑦ハラスメント防止対策→対応予定なし

2017 年度に第三者を交えた講演会を実施したが、社内としてその風潮が無い。

### Q9. 働き方改革を行って感じるメリットは？

働きたいときに働ける仕組みができる、営業の報酬体系の改定は一定の効果があつた。

### Q10. 働き方改革を行って感じるデメリットは？

作業場において、休日の一部を従業員の一部に委譲したとき、休める人も休めない人も、全員から不満がでた。  
休業決断は経営者の仕事であると痛感した。

### Q11. 働き方改革と SDGs や DX との関連をどう捉えていますか？

SDGs は私が 2016 年より環境系 NP0 法人に関わっていることもあり、社員は身近に感じている。ただし、概念的な位置づけであるため、具体的な効果と紐付けする必要があると感じている。

DX は弊社の強みを発揮できる機会と考え、主に営業促進に利用していきたい。従業員の現在の労働環境ともマッチしていると考えるソリューションサービスを核とした企業に移行する上で、DX プラットフォームは移行コストを大幅に節約できるものになると感じている。

### Q12. これから働き方改革に取り組む企業に、メッセージをお願いします

斜陽産業となっている印刷業での大幅な決断は、社員の離職を招くと考えています。試行錯誤、会社に合った環境をゆっくりと構築することが大事だと思います。



# STEP-2

## Zoom 利用によるオンライン 2 次調査

委員による追加質問にお答えいただきました

●向井 皆さん、こんにちは。私たち経営技術研究委員会は、働き方改革などの業務改善を行い、業績を上げている会社を紹介することで、ジャグラー会員がその一歩を踏み出す助けとなるよう活動しています。今回は広島県の広瀬印刷・瀬尾社長にお話を伺います。まず自己紹介をどうぞ。

●瀬尾 こんにちは。弊社は創業 71 年目を迎える企業です。20 年前までチラシ印刷 1 本でやってきましたが、そのことに危機感を抱き、ノベルティ事業としてポケットティッシュやうちわ、あぶらとり紙など、印刷物を部品とみなすような活動を始め、現在ではノベルティの生産、総合印刷的な事業の中でも紙袋・袋系・パッケージなど印刷物の企画をしております。また、コンサルタントの仕事もしており、店舗企画や、インディード（編集注：TVCN でお馴染みの求人サービス）の代理店・採用戦略、ホームページの企画・運営、サーバー関係のコンサルなど、印刷物を製造する企業から情報発信のお手伝いをする企業への転身を図っております。もうひとつ、今伸びているのが NP0 の創業支援、運営支援です。これは印刷業務と非常にマッチングしていることから、これから伸びるかなと思っています。

●向井 ありがとうございます。では進行は宮崎さんをお願いします。

●宮崎 はい。広瀬印刷さんは、いろいろな事業を手広くやられていますが、実際はジャグラーの平均的な会社ですから、有益な話を聞けると思います。では早速、委員の皆さんからの追加質問についてお尋ねしていきますが、その前にまず、「働き方改革に取り組む狙い」、これを改めてお話しいただけますか？

●瀬尾 元々、我が社では従業員に対し、幅広い能力を要求してきました。生産性向上の観点から多能工化を目指しつつ、社員が辞めない環境を作ることに注力してきました。大体 2 年に 1 回、多いときで 1 年に 1 回、就業規則を変更し、長期雇用に向けて、安定した就業条件を整えようとしています。近年は毎年、労働条件通知書を従業員に渡していますが、これは長く勤められるようにという視点から渡していると説明しています。

1 次取材で「働き方改革に取り組み始めたのは 2017 年くら



いから」と回答しましたが、以前から意識せずに取り組んでいたところに、「働き方改革」という言葉が出てきたのが 2017 年だったということです。

●宮崎 それでは追加質問に移ります。「Q3 その当時の時代認識、自社の状況認識は？」について、「社員間に仕事さえしていればいいという意識があった」との回答でしたが、伊東さんから追加質問があるようです。

●伊東 はい。こういう意識から生まれる、悪いところはありましたか？

●瀬尾 失敗事例なのですが、3 年前に土曜日の出勤を社員の自由にすることがありました。我が社は 2 週間に 1 回、隔週で土曜日に出勤するんですが、家にいるより仕事をしたいという方が一定数いて、休みの土曜日にも出てきたいという要望があったんですね。それで「じゃあ自分たちで決めなよ」って言いましたが、結果的に 2 か月後にこの案は廃止にしました。というのも、休む人も働く人も不満しか生まなかったんです。休む人は休んでいることがプレッシャーになり、働く人の中にも「俺はこんなに忙しいのに、何であいつら休みなの？」と思う人がいて……。結局、経営者が社員の状況を細かく把握し、それに応じて出勤の指示を出さなければならぬ——これが勤怠に関しては重要なんだということに気がつきました。

働き方改革で、「社員に全部任せていけば改革は成立する」「働きやすい環境＝社員それぞれが動く環境」と、当時は思っていました。決してそれが正しくなかったということを学びましたね。

●伊東 なるほど、勉強になりました。また、「産休後の復帰率がゼロだったので、その向上を目的とした」とも回答されていますが、実際に復帰された方は何名ですか？

●瀬尾 今まで 4 人、失敗していましたが、今回、初めて 1 人、復帰しました。

●宮崎 その件については阿部さんからも追加質問がありましたよね？

●阿部 はい。復帰率を上げるために、具体的にどのような取り組みをされたんでしょうか？

●瀬尾 その人がどうしたいのか、どうありたいのかというところまで相談に乗らないと、復帰に結びつかないと感じたのが、今回の成功につながったと思っています。フェーズとしては、産休前、産後すぐ、産後 6 か月でハイハイしだしたときのヒアリングがものすごく重要だと感じています。その時々で悩みが 180 度変わっている人が多いんです。

●阿部 辞めてしまった女性が多かったのは、地域的な問題と



| 広瀬印刷さんの「仕事と子育ての両立支援に関する行動計画」                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 従業員の仕事と子育ての両立を支援するとともに、すべての従業員がその能力を十分に発揮できるよう、柔軟な働き方を導入する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 1 計画期間                                                      | 令和 3 年 6 月 1 日～平成 6 年 2 月 29 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2 内 容                                                       | <p><b>2－A 子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備</b></p> <p>◎目標 1 育児休業をしている従業員がスムーズに職場復帰できるよう、講習（職場復帰プログラム）を実施する。</p> <p>◎対策 1 （令和 3 年 6 月～）育児・介護休業法、雇用保険法、労働基準法などの法令に基づき、長期休業前講習と職場復帰講習の内容を見直し、整備する。</p> <p>◎目標 2 中学校就学前の子どもを育てる従業員が希望する場合に利用できる短時間勤務制度を導入する。</p> <p>◎対策 2 （令和 3 年 6 月～）短時間勤務の就労条件を協議、就業規則の規程を整備する。育児の実情に応じてマイカー通勤を許可できる環境を構築する。</p> <p>（令和 4 年 3 月～）就業規則の修正案の周知を図り、就業規則に反映する。</p> <p><b>2－B 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備</b></p> <p>◎目標 3 年次有給休暇の取得日を 1 人最低 5 日以上とする。</p> <p>◎対策 3 （令和 3 年 6 月～）年次有給休暇取得に関する意識調査を行う。</p> <p>（令和 3 年 9 月～）年次有給休暇取得を推奨する日を営業カレンダーに反映する。</p> <p>◎目標 4 在宅勤務制度を導入する。</p> <p>◎対策 4 （令和 3 年 6 月～）在宅勤務の内容や対象について、見込みある対象者を中心にヒアリングを実施、就労条件を協議、就業規則を変更する。</p> |

かあるんでしょうか？

●瀬尾 たまたま、働かなくても生活していける方たちばかりだったんです。ご主人の給料だけでやっていける方とか、親からの保護が手厚い方とか……。Mac がまだ PowerMac だった時代ですが、独立してもやっていけるくらいのスキルを持った方がいたので、育児施設まで準備して、テレワークできる体制を構築したこともありましたが、それでもダメでした。あと、双子ちゃんが産まれた方がいて、通勤が遠くて大変だということで、引っ越しや家具の支援までしたのですが、そのまま辞めてしまいました。

復帰した社員は、終業が 5 時 40 分のところ、4 時退社を認め、働かなかった時間分を控除しています。契約を細かく変えるよりも、単純に早退扱いで控除したほうが本人のためになることもあるんだと、過去の経験から学んでいました。

●宮崎 それでは次に、「Q5 働き方改革にどのような手順で着手しましたか？」の回答について、渡辺さんから追加質問があるようです。職能給制度、人事評価制度、ライフプランなどに係る質問のようですが……。

●渡辺 自分の失敗経験ですが、従業員のライフプランを平均化して考えたことですね。細かくその人の事情を考えないまま行っただけで、評価制度が全然活きなかったという記憶があるものですから。評価制度をどうやって作ったのでしょうか？

●瀬尾 私としては、「20 人以下、いわゆる小規模と呼ばれている製造業においては、人事評価制度は要らない」という感覚なんです。というのは、生産性うんぬんはともかく、みんな限界まで動いている。逆に言えば、動かない人を許さないっていう環境になっている……。そうすると小規模企業の人件費は会社の業績と連動する形が適切であるとさらに突き詰め、ボーナ



ス支給額を会社業績連動型にすれば良いと考えるようになりました。現在、人件費面では一定の付加価値総額を維持すること、労使分配率が 50% になることを目標に取り組んでいます。

職能給制度については、私が某自動車会社に勤務していたことがありまして、その時、職能というものをどう捉えていて、どういう基準で職能が組まれているのかが赤裸々に綴られた就業規則があり、これが非常に勉強になりました。主に年齢給と経験給と職能要件を満たす職能表。この三つのパズルで決まってくるということがわかり、自分なりの会社の経験値に当てはめて、年齢給は、職能要件は、職能給は、経験年数は、といったように一個一個基準を作りました。これが足掛け 5 年位かかった。改定しながら、いろいろなケースを入れ、じゃあこの基準で行こうと……。当然、社員にはこの過程はオープンにしていませんが、3 年位前から、特にテーブルをいじることなく、給料を算出できるようになりました。

なくしたものとしては精皆手当。代わりに作業手当を追加しました。これは直接部門については固定残業制に近い考え方です。あとは車両通勤も安全面から厳格にしていたんですけど、災害などでたまに車で来たいという人がいたので、保険関係だけをきっちりと誓約書さえ出せば車両通勤してもいい。ただし交通費の支給算定の料金の中から駐車場代などは出してくださいねとしています。

●渡辺 職能の段階があると思うのですが、今の人がそのまま定年まで勤めた場合、40 年以上ありますよね。その 40 年間の職能を想定されているわけですか？

●瀬尾 はい、実際に想定しているのに加えて、年齢格差というか、昔の人って要は給料高いんですよ。それと同じ昇進スピードで上級の職能にたどり着く人はいないという想定で配分しています。その代わり、昔であれば深夜 12 時、1 時まで働くこともありましたが、現在はそういうことがありません。自分自身の時間を持てることを重視している。



そんな中でも、「お金を稼ぐコース」として、別会社を作って、そこに出向して、自分の責任でやってみるチャレンジ部門というのを設けました。ただ、作ったけれど誰もやらないので、私が全部片手間でやっていますが……。ウチがいろいろなことをやりだした経緯になります（笑）。

●宮崎 次に、「Q6 政府が推進する次の働き方項目のうち、御社の取り組み状況について追加質問がありました。

●瀬尾 テレワークについては、「会社が指定する場所での業務をテレワークとする」と、就業規則で謳っています。

●渡辺 会社が指定する場所って何処にあるんですか？

●瀬尾 会社が借りているレンタルオフィスです。自宅でのテレワークは家庭で使っているネットワークを借りるので、セキュリティ面で危険なんです。しっかりした環境というのが何なのかということを考えれば、自ずとセキュリティが保たれたレンタルオフィスという選択肢が出てくると考えています。

●宮崎 テレワークしているのは制作部門ですか？

●瀬尾 はい。あとは後加工関係です。内職を自分でやりみたいですなことで、広い意味でテレワークになるかと……。車通勤の話とも絡んでくるんですが、自分でこの日は車で来て、加工品を持って帰って内職する方もいます。割に合うかどうかと言えば割に合わないんですけど、今の仕事のない時期だったらいいなっていう感じですね。

●宮崎 同じくQ6の「長時間労働の是正」について、先ほど手当なんかを使って残業時間を削減しているとかありました。他には何かありますか？

●瀬尾 長時間労働は、やはり営業サイドですよ。ここについては、営業手当分と基本給の部分に分けました。トータル的に長時間労働は本人の自由といったかたちにしております。労働条件通知書には労働時間というものの記載をしていなくて、休みたいときには休んでいいし、とにかく自由裁量といったかたちにしております。ただ、これからこの部分は変更していく予定です。

●宮崎 ありがとうございます。「個人面談や交流会などやっていますか？」という質問が渡辺さんから出ていますが？

●瀬尾 個人面談、実は今までしたことがありません。あえて面談で斜に構えて来られるよりも、日頃の立ち話などで、こういう話あったぜ、というものを汲み上げていくほうがやりやすいかなと。例えば、夏のビール会とか冬の忘年会とか、交流会を年2回やるんですが、逆にこういう時の方が構えられてしまうんですよ。その割に、出張でお客様や業者さんを交えたときはよくしゃべるんですよ。なので交流会は業者を交えながらにして、会社色を薄めた飲み会にしています。

●向井 では最後に、言いにくい話もあるかもしれませんが、苦勞した点などをぜひ教えていただきたいのと、ジャグラ会員に対してのメッセージをお願いします。

●瀬尾 はい。今回、言いにくい話も全部正直にお話ししたつもりでございます。苦勞した点というかこれからも苦勞すると思うのですが、会社を大きくしようと思ったとき、今までやっていたことが、特に働き方という意味で通用しない部分がたくさん出てくると思います。従業員一人一人のから要望を汲み上げていくというやり方から、規模によっては個人面談をしていかなないといけないと思ってますし、私が今までお話しした内容は、あくまで現在の規模での最適化を求めた結果です。逆に言えば規模を変えてこなかったんですね。という中で、今後会社規模を大きくしていくとなると、職能、職給制度なんかもオープンにしていかなないといけないのかなと。

特に働き方改革とSDGs、DXというのは大きな機会だと思います。そういった部分と働き方改革というものは外部からの機会、あるいは驚異と捉えて、自分たちの企業に合った改革、変化をしていく必要があると思います。

●宮崎 正直、企業規模の違いによって課題も当然変わってくるわけですが、その課題をいかに明確にして、社員さんと共有し、働き方改革の下に断行するかが重要ということですね。時間となりました。今日はどうもありがとうございました。

●全員 ありがとうございます。



社屋外観



上から、作業場  
エントランス  
テレワーク用のレンタルオフィス



ノベルティ専門サイト「ノベルティランド」  
<https://www.novelty-land.com/>

## 東グラ共済会「遺伝子検査サービス」

### 人生100年時代を安心して過ごすためにお役立てください

東グラ共済会が提供する遺伝子検査はジェノプランジャパン(株)が提供するサービスを利用するもの。一般価格3万2780円のところ大幅引きの1万9800円(税込、送料別)で利用可能です。最適な保険の選択、最適な食事の把握、最適な運動の推進など、人生100年時代を安心して過ごすためにお役立てください。詳細はコチラで <https://www.tokyographics.or.jp/news/5212/>

●特長

- ① 検査キットを下記より購入し、唾液を入れて返送するだけ
- ② がんや一般疾患体質に係る500項目を解析します
- ③ 国内最速の10営業日で結果がわかります
- ④ 分析結果は冊子(PDF)・ウェブサイト・アプリで閲覧できます

●申し込み&問い合わせ

東グラ事務局・担当：鈴木(電話 03-3667-3771)

「ジャグラ会員」である旨を最初にお伝えください

## お・知・ら・せ

### 「印刷物ご発注に関するお願い」文書を作成 HPよりダウンロードできます

10月26日付けのジャグラ・メルマガでもお知らせしましたが、(一社)日本印刷産業連合会とジャグラで、原材料費などの値上げに対し、印刷料金に転嫁できるよう取引先にお問い合わせの文書を作成しました。印鑑ありのPDF(右写真＝編集は出来ません)と、印鑑無しのWORD文書(会社名を入れて文章を加える事ができます)の2種類を用意しましたので、下記よりダウンロードのうえご利用ください。

◎印刷物発注に関するお願い(印鑑あり・PDF)  
[https://www.jagra.or.jp/file/202110\\_letter.pdf](https://www.jagra.or.jp/file/202110_letter.pdf)

◎印刷物発注に関するお願い(印鑑なし・word)  
[https://www.jagra.or.jp/file/202110\\_letter.docx](https://www.jagra.or.jp/file/202110_letter.docx)

なお、以下の点についてご留意ください。

- ①本文書は、その使用を強制するものではありません。
- ②本文書の配布を契機として会員間で協調的行動がとられた場合は、独占禁止法上問題となりますのでご注意ください。

# お知らせ

令和3年10月

お取引先様 各位

一般社団法人 日本印刷産業連合会  
会長 藤森 康彰

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会  
会長 中村 雄

印刷物ご発注に関するお願い

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、格別のお引き立てを賜わり、厚く御礼申し上げます。  
さて、ご高承のとおり、印刷の主要資材でありますインキ・刷版材料をはじめとし、フィルム他石油化学製品などの原材料につきましても、大幅な値上げがされております。  
新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての業界を顧客とする私ども印刷業界も大きな影響を受けています。さらに今回の資材の値上がり分のコスト吸収は、もはや私どものコストダウンの取り組みの限界を超えるものとなりつつあります。  
お取引先様各位におかれましても、新型コロナの影響により厳しい経営を強いられ、誠に心苦しいところではありますが、これらの諸事情をご察いただき、今後の印刷物ご発注に際しましては、格別のご理解とご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具



# 業 界 の 動 き

## ジャグラ

### 10.9 SPACE-21全国協議会・鹿児島大会をハイブリッド開催 ～さつまから日の本へ～ 講演会「仕事の幅が広がる毛筆書体」も大好評！ 青年部SPACE-21

ジャグラ青年部 SPACE-21 は 10 月 9 日、鹿児島県鹿児島市のかごしま国際交流センターと Zoom にて、全国協議会鹿児島大会（池水孝弘実行委員長）を、会場参加 20 名、Zoom 参加 80 名の合計 100 名でハイブリッド開催しました。

×

当初、鹿児島大会は 2020 年 11 月に開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、1 年延期しての開催となりました。

コロナ禍で厳しい状況が続く、イベントの開催制限や移動制限のある中、皆さんが安心して参加できるようにと、感染対策を強化して安全を第一に考え、会場の人数制限をした上でハイブリッドにて開催しました。

協議会は 15 時より開始し、実行委員長の挨拶、本村豪経 SPACE-21 代表幹事の挨拶、来賓代表として中村耀ジャグラ会長より祝辞を賜りました。

講演会では、アニメ『鬼滅の刃』で一躍話題となった昭和書体を制作・販売している(株)昭和書体の坂口茂樹代表取締役会長、坂口太樹代表取締役社長を講師にお招きし、会社の紹介、採用事例、昭和書体の特徴、フォント制作の苦労、所属書家の紹介、今後の展開などといった内容で裏話

も交えてご講演いただきました。様々な毛筆書体により多様化する顧客のニーズに応えられ、仕事の幅が広がります。そして作業効率やデザイン品質の向上につながるでしょう。特にデザイナーや制作オペレーターなど、実務の方にお伝えしたかったのです。普段から身近にあるフォントについて改めて見つめ、考えることは、参加者だけではなく業界全体にとっても十分なメリットになったのではないのでしょうか。

講演会終了後、PrintNext2022、第 64 回ジャグラ文化典愛知大会、第 65 回ジャグラ文化典高知大会、第 66 回ジャグラ文化典広島大会の PR があり、最後に松永英明鹿児島県支部長の挨拶でお開きとなりました。

会場参加者には当日、Zoom 参加者には後日、大会記念として昭和書体で作成した名入り色紙を差し上げました。なお、ジャグラ HP の SPACE-21 関連記事で SPACE-21 全国協議会 鹿児島大会のご報告として詳細をご確認いただけますので、制作実務の方へも是非ご紹介ください。

(報告：池水孝弘)



本村豪経 SPACE-21 代表幹事



池水孝弘実行委員長



祝辞を賜ったジャグラ中村会長



講演いただいた(株)昭和書体の坂口茂樹会長(左)と坂口太樹社長(右)



ハイブリッド開催となった SPACE-21 全国協議会鹿児島大会昭和書体の名入り色紙を手に笑顔で記念撮影

## 業 界 の 動 き

### ジャグラ

**菅野潔前副会長（東グラ前会長／東京・城東）  
東京都知事賞を受賞  
東京グラフィックス**

菅野潔ジャグラ前副会長（株興栄社／東京・城東）が、10 月 1 日、東京都知事賞を受賞しました。

×

氏は東京グラフィックスでは人材力支援事業を推進したほか、生産性向上支援事業、ICT 導入計画策定支援事業等を推進し、会員の事業経営を支援する施策を次々に実施しました。

また、ジャグラなど印刷関連 10 団体で構成する日印産連の環境委員・環境委員長を歴任し、環境事業の周知等にも大きな功績を残しました。ジャグラ



### ジャグラ

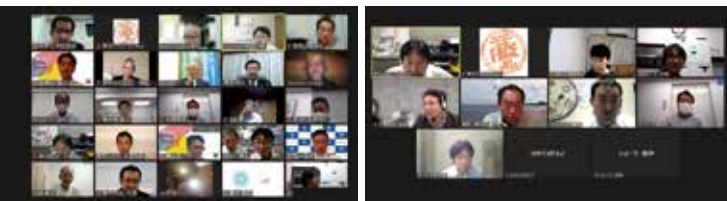
**10.15「東グラ秋祭り」を開催  
オンラインで 60 名余が交流  
東京グラフィックス**

東京グラフィックス（東京地協）は、10 月 15 日、18 時から、Web オンラインで「東グラ秋祭り」を開催しました。

×

このイベントは、コロナ禍の収束が見通せない中、組合活動も思うようにできていない状況もあるため、頑張っている会員・賛助会員の皆さんのお顔を久しぶりに拝見したいという趣旨で開催されたもの。オンラインで 60 名余が参加しました。定刻、参加者各位が飲み物と食事を用意して、PC の前に集合して開始されました。大塚宜輝新宿支部長が総司会を務め、原田大輔東グラ副会長の開会挨拶、清水隆司東グラ会長挨拶の後、幅和弘・日本印刷機材協議会会長による乾杯の発声で開宴しました。

メイン企画のスペシャルトーク・セッション『“リベ



上段左から：清水東グラ会長、幅日印機協会長、講師の山下氏  
下段：オンラインで参加した同地協の皆さん

でも環境の法規が変更された際など、環境対応の必要性を周知するなど環境対策に大きな功績を残しています。

### ◎主な履歴

|      |           |                        |
|------|-----------|------------------------|
| ジャグラ | 常任理事      | 平成 10 年 9 月より 2 期 4 年  |
|      | 常任理事      | 平成 18 年 9 月より 4 期 8 年  |
|      | 理事        | 平成 26 年 6 月より 1 期 2 年  |
|      | 副会長       | 平成 28 年 6 月より 2 期 4 年  |
| 東グラ  | 理事        | 平成 16 年 5 月より 1 期 2 年  |
|      | 副会長       | 平成 18 年 5 月より 5 期 10 年 |
|      | 会長        | 平成 28 年 5 月より 2 期 4 年  |
| 日印産連 | 理事        | 平成 28 年 6 月より 2 期 4 年  |
| ◎賞罰  | ジャグラ業界功労賞 | ＝平成 20 年 9 月           |
|      | 日印産連印刷振興賞 | ＝平成 28 年 9 月           |
|      | 日印産連印刷功労賞 | ＝令和 2 年 9 月            |

ンジ消費”でリベンジしよう！』は、Brighter Later の山下潤一郎氏によるミニ講演！氏は、「コロナ禍で多くの人々が消費活動を我慢してきました。コロナ禍が収まると、その反動で“リベンジ消費”が起こると見込まれており、印刷会社が売上・利益を大きく伸ばすチャンスです」と訴えました。

お楽しみイベントとして好評だった、各支部が提供した豪華賞品ゲットするミニゲーム「ひでちゃんを探せ！」は、表参道や神田駅前に出没する「ひでちゃん＝田中秀樹東グラ理事）」がヒントを出し、参加者が YouTube でその場所を探してキーワードを当てるといったもの。

その後も、参加者同士で近況報告を行ったり、事前登録していた携帯電話番号による『大抽選会』もあって、リアル参加に負けない盛り上がりを見せ、中村盟副会長の中締めにより、2 時間余の秋祭りを終えました。

## 短 信

### ◎コニカミノルタのトナー供給について（第 3 報）

モノクロトナーは 10 月 18 日より生産再開し、順次出荷予定。カラートナーは 11 月 8 日の生産再開予定で、11 月 20 日頃から順次出荷とのことです。詳細は下記。

<https://www.jagra.or.jp/file/konica03.pdf>

### 会員の異動／新入会員

|                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ◎双林(株)／京都        | 木原 庸裕              |
| 〒601-8106        | 京都市南区上鳥羽北中ノ坪町 2 番地 |
| Tel 075-681-7748 | Fax 075-672-5602   |
| ◎清水印刷(株)／和歌山     | 清水 雅司              |
| 〒641-0052        | 和歌山市東高松 3-8-14     |
| Tel 073-444-1414 | Fax 073-444-2291   |



# 我が社の自費出版事情

## 第11回：(株)ウイング (和歌山県和歌山市) 「学術に強い」がきっかけになる

自費出版アドバイザー  
同社・営業企画部 宇治田健志

### 学会誌、論文集ならウイング

数ある印刷物のなかでも、弊社が得意とするジャンルのひとつは、学会誌や論文集など、学術系の冊子の編集だ。校正や納品などの業務を通じ、大学の先生や研究者と関係を深め、いろいろと話をすることは多い。

これまで作成してきた学術誌・論文集の分野は、文学や歴史、芸術をはじめとする文系を中心に、経済や福祉、観光、生物、社会など多岐にわたる。担当する社員は専門的な知識を持っているわけではないので、決して簡単な仕事ではないが、印刷のプロとしての誠実な対応が評価され、多くの学術関係者から信頼を得ている。

学術関係者とのつながりが増えれば、当然、自費出版の案件を受注するチャンスも広がることになる。今回は、「学術に強い」がきっかけになって受注した自費出版の実例をいくつか紹介したい。

### 自分史がわりに資料をまとめる

「自分史のかわりに、学生時代に集めた文献資料をまとめた」。そういう思いを持った原田睦夫さんを紹介してくれたのは、原田さんが通っていた大学の教授だった。その教授とは、国文学系の学会誌の編集を通じて知り合った。学会誌への投稿者のひとりで、校正のやりとりを通じて親しくなった。教授は原田さんから相談を受けた際に、学会誌の仕事を思い出し、弊社のことが頭に浮かんだという。

「学生時代」と言っても、原田さんが大学に通ったのは定年後のこと。会社勤めの終盤から、生まれ育った自国の歴史をもっと勉強したいという思いが強くなり、退職を待って文学部史学科の門をたたいた。講義を通じ、歌人・与謝野鉄幹に興味を持った原田さんは、国語国文科に転籍、大学図書館にこもって、文献集めに熱中した。集めた資料は膨大な量となったが、字数が限られている卒業論文ではそのすべてを使用することはできない。未使用の資料の山をそのまま放棄するのは忍びないということで、卒業後、これらを形として残そうと考えるようになった。

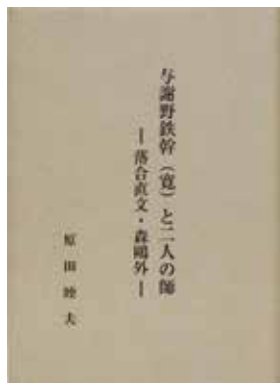


学会誌や論文集など学術系印刷物を得意としている  
詳細は <https://w-i-n-g.jp/company/> を参照

### 750 頁を越える大著に

教授からの「ウイングであれば学術系の出版に慣れている」というすすめもあり、原田さんは弊社に依頼することを決めてくれた。編集の際のリクエストのひとつは、読みやすい文章に修正すること。膨大な文献を紹介することになるので、資料間の文章が単調にならないよう、リズムに注意して元原稿を修正した。校了後、原田さんから「担当者さんに最初の読者になってもらえてよかった」と言ってもらえたのは、その作業に対する最大の誉め言葉だと思っている。

最終的に、原田さんが出版した『与謝野鉄幹（寛）と二人の師——落合直文・森鷗外——』は750頁を越える大著になった。研究者でない人の著作で、これほどのボリュームになることは滅多にない。巻末に付された参考・引用文献の数は414編に及ぶ。退職後の長い年月が刻まれた、まさに「自分史がわり」の1冊と言えるだろう。



「最近では石川啄木が気になってしまっていますね」。ひとつのテーマをまとめることで、新たな興味の対象も生まれてくる。80代を迎えた原田さんだが、まだまだ知的好奇心の泉は尽きない。

### 大学職員からの紹介も

芸術大学教授の前川陽郁さんの場合は、毎年大学の論文集のとりまとめを担当している大学職員からの紹介だった。教授が出版に関する助成金を大学に申請し、大学側が信用できる業者として弊社を選んだ。

前川さんは音楽学科の教員で、弊社が依頼を受けた『心の歌で吹けー操作を超えた金管楽器演奏ー』は、トランペット奏者のクリスティアン・ステーンストロプが発表した“Blow Your Mind”（2017）の翻訳書だった。専門書の翻訳なので、専門用語や記号なども多い。どんな業者でも対応できる案件ではないだろうということで、これまで論文集で実績があった弊社に声がかかった。

結果的に、校正も装丁のデザインもスムーズに進んだが、難しいと予想される仕事だからこそ声をかけてもらえるというのは、これまでの信頼が確かなものだったことの証明と言えるだろう。そういう意味でも、大変に喜ばしい出版となった。

### 取引のある大学の学長

大学の学長を長く務めた佐藤隆一さんが出版したのは、研究書『霞も匂ふ夕陽丘一翠溪・前田純孝論考集成一』と、自分史『年年至日ーわだちのあとからー』の2冊。長年にわたって弊社と取引のある大学で、論文集をはじめ、テキストや広報紙、事務印刷物に至るまで、印刷業者として多



様な品目を受注してきた。

そのため、佐藤さんは自分の本を出すことを思い立った時に、弊社以外の業者でということは一切考えなかったそうだ。もちろん、学術関係の出版に強いという弊社の特色も以前から認識してくれていた。

佐藤さんの場合も、先に紹介した原田さんと同様、膨大な資料が用意されていた。研究書では、数々の論考に加え、研究対象の歌人・前田純孝を顕彰する会についての新聞記事や、記念碑の解説文なども掲載している。一方、自分史の資料に含まれていたのは、戦前の家族写真や、高度経済成長期の教え子が佐藤さん取材した記録、その時期から現在に至る年賀状など、それぞれの時代の風俗や潮流を知ることができる貴重なもの。それらを丁寧に紹介することで、本人と面識のない人が見たとしても興味をそえられるような内容となった。

編集の際の作業としては、収められた短歌の索引の作成や、年表の整理、資料の旧仮名・旧漢字の現代仮名遣い・常用漢字への変換など、専門的な知識が求められるものが少なくなかったが、これまで学術系の仕事をこなしてきた経験を生かし、社内に対応することができた。いずれも問題ない仕上がりとの感想で、社員のさらなる自信につながっている。

### 「学術きっかけ」の本は多様

このほか、先生や研究者から紹介してもらった案件や、先生・研究者自身による出版は、枚挙にいとまがない。例えば、ある先生が研究取材の際に話を聞いた企業の記念誌。あるいは、研究者が長年携わってきた地域の公害対策の歴史をまとめた研究書。大学の名誉教授の古稀を記念してまとめられた業績集や、何人もの先生が携わった伝統芸能復活プロジェクトの報告書もある。

学術誌・論文集の分野が多岐にわたっていることもあり、そこから派生する自費出版のかたちはさまざま。その多様なスタイルに対応してきたことで、弊社の強みである学術系に関する知識・経験は、さらにレベルアップしたと言えるかもしれない。

昨年来の新型コロナの影響で、世の中はいろいろと厳しい状況が続いている。しかし、そんななかでも「学術きっかけ」の自費出版の相談件数は減っていない。ステイホームで原稿を書く時間がたっぷりあったのか、それともこういう時代だからこそ何か書き残さなければならないという意識を強く持ったのか、理由はよくわからない。いずれにしても、弊社としては、そういう案件のひとつひとつにしっかりと向き合い、出版につなげていきたいと考えている。



日印産連の活動トピックスをご紹介します。詳しくはQRコードよりWEBページをご確認ください。

こんにちは  
日本印刷産業連合会です！  
活動紹介ページを新設しました。  
ぜひご覧ください。

# JFPI REPORT

ダイジェスト版

## アフターコロナプロジェクト編 「Change Together」を刊行

日本印刷産業連合会では、アフターコロナの時代に印刷産業が社会から必要とされ続けるために今何が求められているかを模索するべく、会員 10 団体から委員を募って 2021 年 3 月に「アフターコロナプロジェクト」を立ち上げ、3 月の WG から 9 月までの計 8 回にわたる会議を経て、冊子「Change Together」を刊行しました。

本書は、新型コロナウイルス感染症の影響で浮き彫りになった印刷産業の課題と今後の取り組みについて、さまざまな調査や座談会などを経てまとめたものです。座談会での討議や調査結果などを踏まえ、「印刷」に携わる私たちが今後取り組むべきこと・日印産連が取り組むべきことを「提言」として巻末にまとめております。

プロジェクトでは、私たちが共に手を携えてこの目標を達成したいという願いを込めて、本書のタイトルを「Change Together (感動と夢を与える新しい産業へ、共に進化しよう)」としました。ここには会員 10 団体 7,000 社の「今」と「これから」が詰まっています。今後のアフターコロナにおける経営のロードマップとして、ご活用ください。



冊子のお申し込みについて  
日印産連の HP にてお申し込み方法をご確認ください。  
会員・賛助会員 無料  
一般 3,300 円 (税込み・送料別)



## 2021年 GP 環境大賞等表彰のご紹介

本年より「GP 環境大賞ゴールドプライズ」を新たに設けるとともに、GP 環境大賞・GP マーク普及大賞に各部門を設けました。

- \*GP 環境大賞 2 部門  
一般印刷の部、パッケージ印刷の部
- \*GP 普及大賞 3 部門  
オフセット印刷部門、グラビア・シール・スクリーン部門、製本・表面加工部門



受賞者は  
こちらから  
ご確認ください。



## GP 周知イベント「印刷と私」トークショー 動画公開中

会場：市谷の杜 本と活字館

グリーンプリンティング PR 大使 小山薫堂氏

× ゲスト 日本航空株式会社商品・サービス開発部部長 新谷浩一氏  
日本航空機内誌「SKYWARD」出版・編集グループ長 飯田未知氏



「市谷の杜 本と活字館」の前にて 対談の動画シーン

●その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。



### 印刷用語集

聞きなれない専門用語も多い印刷用語を  
カテゴリ別や50音で探すことができ、わか  
りやすく解説しています。



「印刷って、何？」が、楽しくわかる  
ぷりんとぴあ



### 印刷産業 Monthly Report

各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内  
経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関  
わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。



### 出版物のご案内

印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した  
小冊子をご購入いただけます。



## 事務局日誌と 今後の予定

最新情報は HP でご確認ください

### 10 月の事務局日誌

- 5 日 プライバシーマーク現地審査 (愛媛)
- 7 日 プライバシーマーク審査会 (本部)
- 9 日 SPACE-21 全国協議会 鹿児島大会 (かごしま国際交流センター +Web 会議)
- 11 日 日印産連広報委員会 (日印産連会議室) →事務局
- 12 日 プライバシーマーク現地審査 (都内)
- 13 日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 14 日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 15 日 印刷物創注委員会 (㈱クイックス)
- 16 日 関東地協千葉大会 総会・懇親会 (京成ホテル ミラマーレ) →中止
- 19 日 広報委員会 (Web 会議)、生産性向上委員会 (Web 会議)
- 20 日 ジャグラ BB 委員会 (Web 会議)
- 21 日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 22 日 拡大理事会 (Web 会議)
- 23 日 自費出版表彰式 (アルカディア市ヶ谷) →中止
- 25 日 全国協議会会場確認→事務局他、ジャグラ文化典愛知大会実行委員会→田中理事
- 26 日 経営技術研究委員会 (Web 会議)
- 27 日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 28 日 プライバシーマーク制度説明 (大阪)
- 29 日 DX ワーキンググループ (㈱正文舎)

### 11 月のスケジュール

- 1 日 マーケティング委員会 (本部)
- 2 日 プライバシーマーク現地審査 (都内)
- 5 日 プライバシーマーク現地審査 (新潟)
- 12 日 総務委員会、全国協議会、役員推薦委員会 (以上、東京ドームホテル)
- 15 日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 16 日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 17 日 DX ワーキンググループ (Web 会議)、日印産連専務理事連絡会 (臨時) (日印産連会議室) →沖専務
- 18 日 プライバシーマーク現地審査 (都内)
- 19 日 広報委員会 (Web 会議)、近畿地協総会 (ホテルグランヴィア和歌山) →祝電
- 25 日 JAGAT 理事会 (Web 会議) →吉岡理事
- 29 日 日印産連『印刷の月』記念式典 (ホテルニューオータニ) →中村会長・清水副会長・沖専務
- 30 日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)

### 12 月のスケジュール

- 1 日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 8 日 プライバシーマーク審査会 (本部)
- 10 日 プライバシーマーク現地審査 (神奈川)

### 事・務・局・便・リ

毎年当たり前のように行われていた作品展が、昨年度は新型コロナ感染拡大により初めて中止になりました。今年度はコロナ禍の中でしたが、9 月に審査会を開催し、1 年ぶりに入賞作品が決まりました。リアルな審査会は久々でしたが、委員の皆様があれこれ議論しながら、とても楽しそうに審査している姿が印象的でした。早く当たり前の日常が戻ってきて欲しいと思う今日この頃です。(R.S)

※「事務局便り」は本部事務局職員が交替で執筆しています

### 月刊『グラフィックサービス』840 号

- 発行日 令和 3 年 11 月 10 日 (毎月 1 回)
- 発行人 中村 耀
- 編集人 清水 隆司
- 発行所  
一般社団法人  
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16  
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
ウェブ https://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報  
経済社会推進協会指定のプライバシー  
マーク指定審査機関です

- 編集部 メール edit@jagra.or.jp

### ◎企画：ジャグラ広報委員会

委員長 清水 隆司 / 副会長

委 員 中村 耀 / 会長

田中 秀樹 / 東京・城東

斎藤 成 / 東グラ専務理事

沖 敬三 / 専務理事

田中 良平 / 理事

外部委員 藤尾 泰一 / (有)インフォ・ディー

事務局 阿部奈津子

守田 輝夫

### ◎原稿・編集・校正：ジャグラ事務局ほか

沖 敬三 田中 良平 並木 清乃

阿部奈津子 今田 豪 守田 輝夫

酒井 玲子 長島 安雄 (以上、ジャグラ事務局)

斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)

藤尾 泰一 (有)インフォ・ディー / 広報委員)

日経印刷(株) (校正のみ)

### ◎渉外 並木 清乃 守田 輝夫

### ◎広告 酒井 玲子

### ◎Web 阿部奈津子

### ◎動画 今田 豪

### ◎組版 / デザイン (有)インフォ・ディー

DTP = Adobe CS6/CC ほか

フォント = モリサワ 0TF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォント  
を使用しています

### ◎製版 / 印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow

CTP = 富士フィルム XP-1310R

刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P

インキ = DIC

用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg

※本誌は FSC 森林認証紙 (管理された供給源からの原材料で  
作られた紙) と LED-UV インキ (リサイクル対応型) を用い、  
環境に配慮した印刷工場で生産されています。  
https://www.nik-prt.co.jp/

### Copyright 2021 JaGra

### 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です  
原則、TM や ®マークは省略しています

※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします



# RMGT 970 が あなたの SDGs を アシスト Assist

“誰一人取り残さない”社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。



人に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の  
スマートアシストプリンティングで人に優しい



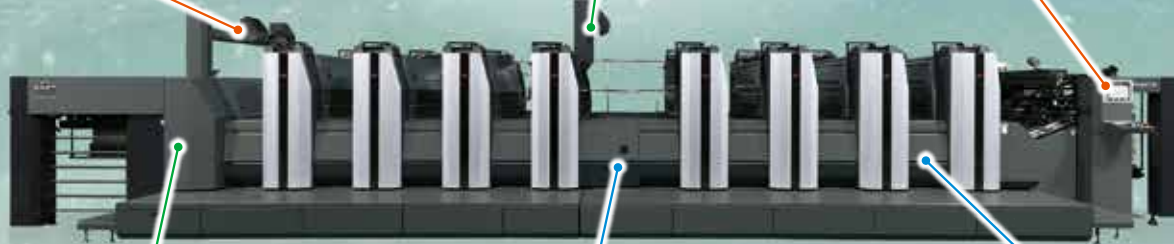
地球に優しい

品検・濃度・見当調整をインラインで行い  
損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい



経営に優しい

アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい  
グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な  
LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる  
ワンパス両面印刷で経営に優しい

刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる  
菊全判ジャストサイズだから経営に優しい



**リョービ MHI**  
グラフィックテクノロジー株式会社